

令和2年千葉市教育委員会会議  
第2回臨時会会議録

千葉市教育委員会

# 令和2年千葉市教育委員会会議第2回定例会会議録

日時 令和2年7月31日(金)  
午前10時00分開会  
午後5時34分閉会  
場所 第一・第二会議室

出席委員 教 育 長 磯野 和美  
委 員 和田 麻理  
委 員 小西 朱見  
委 員 千葉 雅昭  
委 員 竹田 賢

## 出席職員

教 育 次 長	大野 和広	教育支援課指導主事	田邊 寿晃
教 育 総 務 部 長	松浦 良恵	教育指導課指導主事	宮野 昭仁
学 校 教 育 部 長	山下 敦史	教育指導課指導主事	石塚 千佳
千 葉 高 等 学 校 長	遠藤 明男	教育 改革 推 進 課 指 導 主 事	鈴木 恵子
稲 毛 高 等 学 校 長	佐藤 啓之	教育 改革 推 進 課 指 導 主 事	佐藤 素子
総 務 課 長	山口美登里	教育指導課指導主事	前田 務
教 育 指 導 課 長	鶴岡 克彦	教育指導課指導主事	仲村 純子
教育指導課統括管理主事	樋口 雅也	教育指導課指導主事	中村 敏江
総 務 課 総 括 主 幹	渡邊 直子	保健体育課指導主事	平川 紀子
総 務 課 課 長 補 佐	志賀 二郎	教育 改革 推 進 課 指 導 主 事	青木 統
教育指導課主任指導主事	小石 伸一	教育指導課主任指導主事	豊川ますみ
教育 改革 推 進 課 指 導 主 事	勝部 恭央	教育 改革 推 進 課 指 導 主 事	高雄 淳史
教育支援課主任指導主事	三橋 一裕	教育指導課指導主事	岡田 直美

書 記 総務課総務班主査 金井 昌樹 総務課主任主事 安藤 俊介  
総務課経理班主査 大友 美嗣 総務課主任主事 小坂 由希

- 1 開会  
磯野教育長より開会を宣言
- 2 会議の成立  
過半数の委員の出席により会議成立
- 3 会議録署名人の指名  
磯野教育長より和田委員を指名
- 4 会期の決定  
令和2年7月31日（1日間）とすることで全委員異議なく決定
- 5 議事日程の決定  
議事日程を全委員異議なく決定

6 議事の概要

(1) 議決事項

- 議案第52号 陳情について
- 議案第53号 陳情について
- 議案第54号 陳情について
- 議案第55号 陳情について
- 議案第56号 陳情について
- 議案第57号 陳情について
- 議案第58号 陳情について
- 議案第59号 陳情について
- 議案第61号 陳情について
- 議案第62号 陳情について
- 議案第63号 陳情について
- 議案第64号 陳情について
- 議案第65号 陳情について
- 議案第66号 陳情について
- 議案第67号 陳情について
- 議案第68号 陳情について
- 議案第69号 陳情について
- 議案第70号 陳情について
- 議案第71号 陳情について
- 議案第72号 陳情について
- 議案第74号 陳情について
- 議案第75号 陳情について

鶴岡教育指導課長より一括して説明があった後、審議。陳情第29号～第3

6号、第38号～第49号、第51号及び第52号について、不採択と議決した。

議案第60号 陳情について

議案第73号 陳情について

鶴岡教育指導課長より一括して説明があった後、審議。陳情第37号及び第50号について、不採択と議決した。

議案第76号 陳情について

鶴岡教育指導課長より説明があった後、審議。陳情第53号について、不採択と議決した。

議案第77号 令和3年度使用千葉市立千葉高等学校用教科用図書の採択について

遠藤千葉高等学校長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

議案第78号 令和3年度使用千葉市立稲毛高等学校用教科用図書の採択について

佐藤稲毛高等学校長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

議案第79号 令和3年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の採択について

大野教育次長及び鶴岡教育指導課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。

議案第80号 令和3年度使用千葉市立中学校用教科用図書の採択について

議案第81号 令和3年度使用千葉市立稲毛高等学校附属中学校用教科用図書の採択について

議案第80号と議案第81号を別採択とする理由及び両議案を一括説明としたい旨、鶴岡教育指導課長より説明があった後、審議。一括説明及び審議を行い、その後採決を行うこととなった。

大野教育次長及び鶴岡教育指導課長より説明があった後、審議。無記名投票の結果、下記のとおり採択することと決定した。

## (2) 発言の要旨

議案第52号 陳情について

議案第53号 陳情について

議案第54号 陳情について

議案第55号 陳情について

議案第56号 陳情について

議案第57号 陳情について

議案第58号 陳情について  
議案第59号 陳情について  
議案第61号 陳情について  
議案第62号 陳情について  
議案第63号 陳情について  
議案第64号 陳情について  
議案第65号 陳情について  
議案第66号 陳情について  
議案第67号 陳情について  
議案第68号 陳情について  
議案第69号 陳情について  
議案第70号 陳情について  
議案第71号 陳情について  
議案第72号 陳情について  
議案第74号 陳情について  
議案第75号 陳情について

磯野教育長 それでは、議決事項に係る審議を行います。議案第52号から第76号までの「陳情について」ですが、教育委員会組織規則第8条第13号の規定に基づき、採択又は不採択を議決することとなります。

磯野教育長 はじめに、議案第52号から第59号まで、第61号から第72号まで、第74号及び第75号についてですが、陳情の趣旨が同様のものであることから、一括して説明をしていただき、採決についても一括で行いたいと思っておりますがいかがでしょうか。  
(「異議なし」という声あり)

磯野教育長 議案第52号から第59号まで、第61号から第72号まで、第74号及び第75号に係る「陳情第29号から第36号、第38号から第49号まで、第51号及び第52号」については、説明、採決ともに一括で行うこととします。

それでは、「陳情について」、教育指導課長、説明をお願いします。

鶴岡教育指導課長 議案第52号から第59号まで、第61号から第72号まで、第74号及び第75号の教科書採択に関連し、提出された陳情について説明します。

議案第52号から第59号まで、第61号から第72号まで、第74号及び第75号の教科書採択に関する陳情については、

同様の内容で要望しています。

「歴史や公民の教科書は、育鵬社や自由社が適している」です。

加えて、「東京書籍の教科書は、自虐的な内容が多い」といった意見や、教育出版社、帝国書院、日本文教出版の教科書に対する意見もいくつかの陳情で見受けられました。

このことについて、一括して見解を申し上げます。

今回の採択の対象となる教科用図書は、いずれも文部科学省の検定を合格したものであり、すべての教科用図書が学習指導要領の目標を踏まえたものとしてとらえています。

その上で、公開された会議の場において、採択権者の責任のもと、内容・構成が充実しており、本市の生徒の実態をもとにふさわしい教科用図書が採択されるべきものと考えます。

説明は以上です。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等を含め、何かありますか。

和田委員 説明ありがとうございます。

まず、いつも申し上げるのですが、このようにたくさんの方に  
関心を持っていただいて、また意見をお寄せいただいたことに  
感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

今日これから私達で議論をして採択をしていくのですが、これまでも1か月の間、各者の教科書を読み込んで参りまして、説明のありましたように、千葉市の子ども達にふさわしい教科書を採択権者として責任を持って採択していきたいと考えています。

すべての教科書が文部科学省の検定を通過しており、同じスタートラインに立っているということを踏まえて、私達で今日これから採択をしていきたいと考えています。

磯野教育長 ご意見、ご質問等がないようですので、採決に移ります。

議案第52号から第59号まで、第61号から第72号まで、第74号及び第75号について、その願意を認め採択することに賛成の方の挙手をお願いします。

(挙手なし)

磯野教育長 賛成の委員はいません。

よって議案第52号から第59号まで、第61号から第72号まで、第74号及び第75号を不採択とすることと決定しました。

議案第60号 陳情について

議案第73号 陳情について

磯野教育長 次に、議案第60号及び第73号についてですが、陳情の趣旨が同様のものであることから、一括して説明をしていただき、採決についても一括で行いたいと思いますが、如何でしょうか。  
(「異議なし」という声あり)

議案第60号及び第73号に係る「陳情第37号及び第50号」については、説明、採決ともに一括で行うこととします。

それでは、「陳情について」、教育指導課長、説明をお願いします。

鶴岡教育指導課長 議案第60号及び第73号の教科書採択に関連し、提出された陳情について説明します。

議案第60号及び第73号の陳情は、令和3年度から使用される中学校用教科用図書の採択について、以下の内容で要望しています。

- 1 歴史、公民分野の教科書は、育鵬社、自由社が適している。
  - 2 教科書を採択した理由を公表してほしい。
- です。

このことについて、見解を申し上げます。

今回の採択の対象となる教科用図書は、いずれも文部科学省の検定を合格したものであり、すべての教科用図書が学習指導要領の目標を踏まえたものとしてとらえています。その上で、公開された会議の場において、採択権者の責任のもと、内容・構成が充実しており、本市の生徒の実態をもとにふさわしい教科用図書が採択されるべきものと考えます。

また、教科書採択に関しては、本日の教育委員会会議の臨時会を公開としており、会議における採択結果や議事録を、その後、千葉市教育委員会ホームページにも掲載していきます。

説明は以上です。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等を含め、何かありますか。

小西委員 まず1点目については、先程和田委員がおっしゃったようにいずれも文部科学省の検定済みのものですし、これから私達が責任を持って、千葉市の子ども達にふさわしい教科書を選んでいくべきだと思いますので、不採択でよろしいかと思います。

2点目についても、本日これから議論をしていくわけですが、けれども、会議は公開ですし、結果についても、後日ホームページ

で公開されていますので、こちらも不採択でよろしいかと思  
います。

磯野教育長 他にご意見、ご質問等がないようですので、採決に移ります。

議案第60号及び第73号に係る「陳情第37号及び第50号」について、その願意を認め採択することに賛成の方の挙手をお願いします。

(挙手なし)

磯野教育長 賛成の委員はいません。

よって議案第60号及び第73号を不採択とすることと決定しました。

議案第76号 陳情について

磯野教育長 次に、議案第76号「陳情について」、教育指導課長、説明をお願いします。

鶴岡教育指導課長 議案第76号の教科書採択に関連し、提出された陳情について説明します。

議案第76号の教科書採択に関する陳情について、以下の内容で要望しています。

- 1 道徳の教科書について、授業で特定の価値観を押し付けたり、生徒の忖度を評価したりすることがない教科書を要望する。その点から「日本教科書」を採択しないこと
  - 2 公民の教科書について、「育鵬社」や「自由社」を採択しないこと
  - 3 歴史の教科書について、育鵬社を採択せず、考える力に重点を置く「学び舎」を採択すること
- です。

このことについて、一括して見解を申し上げます。

今回の採択の対象となる教科用図書は、いずれも文部科学省の検定を合格したものであり、すべての教科用図書が学習指導要領の目標を踏まえたものとしてとらえています。その上で、公開された会議の場において、採択権者の責任のもと、内容・構成が充実しており、本市の生徒の実態をもとにふさわしい教科用図書が採択されるべきものと考えます。

説明は以上です。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等を含め、何かありますか。

和田委員 繰返しになってしまいますが、すべての教科書が文部科学省の検定を通っているということ、採択権者の私達が責任を持つ



て、本市の子ども達にふさわしい教科書を採択したいと考えていますので、御意見として伺っておけばよろしいと思います。

磯野教育長 他にご意見、ご質問等がないようですので、採決に移ります。  
議案第76号に係る「陳情第53号」について、その願意を認め採択することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手なし)

磯野教育長 賛成の委員はいません。

よって議案第76号を不採択とすることと決定しました。

議案第77号 令和3年度使用千葉市立千葉高等学校用教科用図書の採択について

磯野教育長 次に、議案第77号「令和3年度使用千葉市立千葉高等学校用教科用図書の採択について」、千葉高等学校長、説明をお願いします。

遠藤千葉高等学校長 議案第77号「令和3年度使用千葉市立千葉高等学校用教科用図書の採択について」、千葉市教育委員会組織規則第8条第10号の規定により議決を求めるものであります。

別冊の参考資料をご覧ください。1ページ、選定方針について、説明申し上げます。

最初に、1の本校の実態及び重点目標についてです。

本校では、ほぼ全員が進学を希望している状況を踏まえ、「各教科の指導内容を充実させ、基礎・基本の学力の定着と個々の適性の伸長を図り、自己教育力の育成を図る」という学校教育目標を掲げています。

また、千葉市の「科学都市戦略構想」のもと、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）指定校として、生徒の科学的能力の伸長や国際性の涵養を図ることに取り組んでいます。

重点目標はそれらを踏まえたものとしており、(1)として、確かな学力の定着と、主体的な学習活動の展開、(2)として、SSHのプログラムによる、思考力・判断力・表現力の育成を掲げています。

次に、2の本校に求められる教科用図書の特色ですが、普通科では、生徒の実態を踏まえたレベルの教科書であることを前提として、発展的な内容まで広く扱い、興味関心を高める表記があるか。最新のデータに基づく資料等が挿入されているか。応用・発展や研究問題が配置されているか。SSHに必要な専門的・探究的な内容、高大連携を視野に入れた内容等があるか。

以上を踏まえて選定しています。

また、理数科では、普通科の教科用図書の特色を前提とした上で、課題研究や探究活動等の内容が充実していることを加えた観点で選定をしています。

3の選定基準ですが、記載のとおり、校内で教科書選定委員会を設置し、適正に選定を行っています。

現行の学習指導要領が平成25年度から実施され、その後、平成28年度から、各教科書会社が改訂版を出しました。その改訂版が出たタイミングで、本校の教育により合致している教科書を選定し直していますので、ほとんどの教科書は来年度も継続して使用することにしています。変更となる教科書は1つとなります。

それでは、次に、各教科について、説明します。

3ページ、令和3年度使用高等学校教科用図書選定理由書をご覧ください。

国語で使用する教科書の選定にあたっては、定番教材をはじめ、近現代の名作など幅広い作品が収録されていること、読解力を身に付けるための工夫がされていることを重視しています。変更はありません。

地理歴史・公民で使用する教科書の選定にあたっては、生徒の興味関心を喚起し、記述が丁寧で、資料や図版の取り上げ方が適切であり、自学自習に活用しやすいことを重視しています。変更が一つあります。

通し番号8、2年生の「日本史A」ですが、山川出版社から東京書籍の教科書に変更します。これは普通科SSHコースと理数科の生徒が使用する教科書になります。

東京書籍の教科書は、重点的に取り上げたい内容に関わるコラムが多く掲載され、生徒が主体的に考える工夫をしています。また、グラフやデータが充実しており、理系の生徒に適した教科書となっています。

数学については、考え方や基礎・基本が理解しやすく、発展的な内容、高度な学習内容まで積み上げることができるものを重視しています。変更はありません。

理科の物理と化学については、普通科と理数科で使用する教科書を別にしてしています。普通科においては興味関心を高め、丁寧に記述されているもの、理数科においては課題研究で使用す

ることも視野に入れ、発展的な内容に踏み込んだものを使用しています。

生物と地学は、普通科、理数科とで共通の教科書としており、基礎から発展的な内容まで詳しく記述してあるもの、最新の情報や写真・図を多く取り入れているものを使用しています。変更はありません。

保健体育は、内容がよく整理され、わかりやすいものを使用しています。変更はありません。

芸術については、生徒が主体的に創作に取り組めるものを使用しています。変更はありません。

英語についてですが、取り上げられている題材が多岐にわたっており、教科横断的な授業であるクロスカリキュラムやコミュニケーション活動に適した教科書、また長文読解の力をつけるのに適した教科書を使用しています。変更はありません。

家庭では、図表が豊富で、内容が充実したもの、科学的視点を多く取り入れたものを使用しています。変更はありません。

情報では、内容が充実したもの、数学との連携がしやすい内容のものを使用しています。変更はありません。

以上、千葉高校における令和3年度使用の教科用図書について、説明しました。よろしく申し上げます。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等を含め、何かありますか。

和田委員 説明ありがとうございました。

教科書採択のことと少し離れてしまうのですが、市立千葉高校のSSHは長く指定されており、理数系に特徴のある高校ですが、理数科以外の普通科の生徒たちにも、理数的なアプローチを様々されていると思うのですが、その中で、近頃、特徴的なことがあれば教えてもらいたいと思います。

遠藤千葉高等学校長 本校のSSHの事業は1期5年間ですが、今3期目に入っています。

その2期目から本校では、教科横断的な授業ということで、クロスカリキュラムという授業を取り入れています。

この授業は、文系の教科科目であっても、理数的な切り口の単元が出てきたときには、理科の先生や数学の先生が授業の中に入ってTTで授業を行っているというような取り組みです。

これが年々拡充していきまして、本校の先生同士だけでなく、今始めていますのは、大学や研究機関の先生にも入っていただい

たり、今後はリモートでもやってみようと考えていますが、そのような形で、文系の教科科目であっても、理系の視点を育てていくという取組みをしています。

和田委員 ありがとうございます。ますます楽しみです。

磯野教育長 ほかにご質問もないようですので、議案第77号「令和3年度使用千葉市立千葉高等学校用教科用図書採択について」を、原案どおり可決したいと考えますが、如何でしょうか。

(「異議なし」という声あり)

磯野教育長 ご異議ないようですので、原案どおり、可決とします。

議案第78号 令和3年度使用千葉市立稲毛高等学校用教科用図書の採択について

磯野教育長 次に、議案第78号「令和3年度使用千葉市立稲毛高等学校用教科用図書の採択について」、稲毛高等学校長、説明をお願いします。

佐藤稲毛高等学校長 議案第78号「令和3年度使用千葉市立稲毛高等学校用教科用図書の採択について」、千葉市教育委員会組織規則第8条第10号の規定により議決を求めるものであります。

参考資料をご覧ください。

まず、最初のページにあります、1「本校の実態及び重点目標」ですが、本校は「豊かな国際感覚を身に付けたグローバル・リーダーの育成」を教育目標に掲げていまして、(1)自分たちの伝統・文化を理解する姿勢を持つ。(2)外国の伝統・文化を理解する姿勢を持つ。(3)自らの考えや意見を発信し、具体的に行動することができる力を養う。この3つの柱を中心とした教育を実践しています。

特に、「重点目標」としまして、国際理解教育の推進にあたり、英語力を身に付けさせるだけではなく、幅広い教養や思考力・判断力・表現力、そして主体性を持って学ぶ態度を育てること、さらには本年度、指定の2年目となる、文部科学省の地域との協働による高等学校教育改革推進事業(グローバル型)のさらなる充実のためにも、課題発見力・課題解決力の基礎となる探究する力を身に付けさせること、を強く意識して教科書選定を行っています。

続いて、2「本校に求められる教科用図書の特色」としましては、基本的に「生徒の興味・関心・意欲」の喚起に資するものであることを第一義としまして、普通科では、各教科とも、デー

タ、図、写真等がバランスよく配列されており、言語活動へのアプローチも充実した内容としています。また、英語では、様々な分野の話題がバランスよく取り上げられ、語彙や文法も充実したものとしています。

これは、本校に4人配置していますネイティブ講師の意見を最大限尊重しまして、日本人教員とのティームティーチングにおいて、発信活動がしやすい内容であったり、速読、精読等、授業の目的に合わせた学習に適していること、最終的には、英語力4技能の伸長を測定することに適した構成となっているものです。

さらに、国際教養科では、ただいま申しあげました要素に加え、専門科目の特色を生かすことができる内容、特に「総合英語」や「英語表現」において、ディスカッション、ディベート等の高度な表現活動がしやすい題材、表現を取り扱っているものとしています。

3「教科用図書の選定基準」については、記載のとおりです。

本校では、これまでと多少、選定の流れを変えまして、グループワークやペアワークの授業で使いやすいもの、授業だけではなく家庭学習においても使いやすいもの、思考力や表現力を高める工夫のあるもの、などの観点から選定する傾向を年々強めています。

また、現行の学習指導要領が平成25年度から始まり、近年、各教科書会社が改訂版を出しており、その改訂版が、本校の教育により合致するケースが多くなってきましたので、3年前に慎重に選定をした結果、多くの教科書を選定し直しました。今年度は、昨年度と全く同様です。

それでは、選定理由を説明します。なお、来年度も今年度とすべて同じ教科書を選定していますので、補足の必要なものに絞って、説明します。詳細は、選定理由書をご覧ください。

まず、国語ですが、言葉の運用能力を、すべての学びの基礎力として特に重視しています。

現代文Bは、平成30年度の2年生から筑摩書房の精選現代文B改訂版に変更しました。新旧の作品がバランスよく配置され、グループやペアで議論できる問いが数多く載っており、言語活動が行いやすい教科書となっています。

古典Aにつきましては、大修館書店の「古典A 物語選」の改

訂版が発行され、平成30年度の2年生で「古典A 物語選 改訂版」に変更しました。改訂版は、古文・漢文の基礎基本を定着させることに重きを置き、ジャンルや時代のバランスが良い教科書となっています。

英語表現Ⅰ・Ⅱは、年次進行で啓林館から、いづな書店に変更し、昨年度より3学年揃って使用するようになりました。いづな書店の特徴は、外国人の講師の評価で、表現が自然であり、4技能を身に付けるのに適した教科書であるとされています。ネイティブとのティームティーチングの授業においてプレゼンテーション、ディスカッション、ディベートといった高度なコミュニケーション活動を行いやすい教科書です。

最後に専門科目の英語について触れさせていただきます。国際教養科で設置してある専門科目の英語ですが、その専用のもので出版されていません。

学習指導要領によりますと、普通教科の英語の内容に加え、必要に応じて内容を発展・拡充させて取り扱うこととなっています。

したがって、本校では、普通科の英語の教科書を使用しつつ、発展的な内容を加えて、工夫して授業を行います。

以上で説明を終わります。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等を含め、何かありますか。

和田委員 説明ありがとうございました。

やはり採択と少し離れてしまうのですが、以前にも質問させてもらいましたが、工芸という教科が、市立稲毛高校で非常に特徴的で、あまり他の高校であるようには私も認識していません。この工芸という教科を、いま選択している生徒数がどれくらいなのか、近年の特徴的な活動があれば教えていただければと思います。

佐藤稲毛高等学校長 本校の芸術科目は音楽、美術、書道、工芸と4つ置いてありまして、そのうち工芸を選択している生徒は、1年生で80人程度、2年生で70人程度、3年生は若干名程度となっています。毎年それぐらいの傾向です。1年次の希望者自体は120人ほどいるのですが、調整して80人程度に抑えているという状況です。

2年生は国際教養科では芸術の選択がなく、3年生では理系を希望する生徒が多いということから、このような状況になっ

ています。

いまご質問いただいたように、工芸を選択させる学校も少なくなっていて、以前、高等学校では学年10クラスの規模という時代がありましたが、その頃、音楽、技術、書道の3教科では収容し切れないということで、ここに工芸を加えて、開講したという経緯がありました。

その後、生徒減等もありまして、県内で、現在工芸の授業を行っているのは、公立高校で28校程度と聞いています。

本校で特徴的なことは、アメリカ、カナダ、オーストラリアから生徒が数多く来校して、今年にはコロナの関係で来られないのですが、交流して、彼らが本校に来たときには、本校の受入れ生徒、バディと呼んでいますが、バディの生徒とともに工芸の授業を体験してもらって、オリジナルの箸を作り、自分の名前を入れて記念に持ち帰ってもらっています。

工芸担当の教諭は、本来、技術が専門ですが、こうした活動を積極的に受け入れてくれています。

また本校の特徴として、独立した工芸棟という建物があります。

これは県下では非常に珍しい施設ということで、ぜひ何らかの機会にご覧いただければと思っています。

また今年にはコロナのことがありますので、私が呼びかけて30教室すべてに木を使用したシールドを作成しましたが、そのときに工芸棟を活用して、私自身作らせていただきました。

和田委員 ありがとうございます。ますます大事にしていきたい教科だと思います。

竹田委員 どうもありがとうございました。

両校で使っている教科書に差があるのは、教育方針の大きな違いだと思うのですが、世界史については、千葉高校は1年生で世界史Aと3年生で世界史B、稲毛高校では世界史Bが1年生ということで、千葉高では1年生3年生で世界史A・Bを履修するとのことですが、これは世界史にかなり力を入れているという考えでしょうか。

遠藤千葉高等学校長 その通りでして、1年生の地歴公民の科目の中で、世界史Aについては、全員に履修をさせています。

そのうえで、3年生になりまして、世界史Bは、単位数が4、

つまり、週4時間授業があるのですが、世界史Aは週2時間ですが、この世界史Bというのは、選択をして3年生が学ぶ科目となっています。1年生で世界史Aを学んだということもあるとは思いますが、やはり世界史Bの選択者は多いと考えます。

竹田委員 どうもありがとうございました。

もう一点教えてもらいたいののですが、千葉高校ですと2学年で地理のAとBの選択がありますが、これは生徒はどう使い分けているのでしょうか。

遠藤千葉高等学校長 通し番号10番の地理Aの教科書は、週2時間の授業ですけれども、こちらは、普通科のSSHコースという、いわゆる普通科の中で、2年生から理数教育に特化したコースを作っていました、その生徒が20人ほどいるのですが、その生徒と、理数科の生徒向けの教科書ということになります。地理Bについては、2年生の普通科で地理Bと日本史の選択をさせており、週4時間の授業を行っています。

竹田委員 そうすると、地理Aは、SSHと理数系の生徒が使っているということですね。

磯野教育長 ご質問もないようですので、議案第78号「令和3年度使用千葉市立稲毛高等学校用教科用図書採択について」を、原案どおり可決したいと考えますが、如何でしょうか。

(「異議なし」という声あり)

磯野教育長 ご異議ないようですので、原案どおり、可決とします。

議案第79号 令和3年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の採択について

磯野教育長 次に、議案第79号「令和3年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の採択について」ですが、まず、教科用図書選定委員会の調査結果報告について、選定委員会委員長である教育次長からその概要の報告をお願いします。

その後、調査結果についての説明を教育指導課長からお願いします。

大野教育次長 議案第79号は、「令和3年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の採択」について、千葉市教育委員会組織規則第8条第10号の規定により議決を求めるものです。

学校教育法附則第9条の規定による教科用図書については、本年5月25日の教育委員会会議第5回定例会において決定された「令和3年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択方針」



に基づき、6月1日に第1回千葉市教科用図書選定委員会を開催して、教科用図書専門調査員会を設置するとともに、専門調査員を任命し、教科用図書選定に係る調査研究等を行ったところであります。

また、その調査研究の報告を基に7月20日に第2回千葉市教科用図書選定委員会を開催し、「令和3年度使用教科用図書調査研究報告書」をとりまとめました。

報告書の内容については、教育指導課長より説明します。

鶴岡教育指導課長

特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の教科用図書については、文部科学省検定済教科用図書及び文部科学省著作教科用図書の当該学年用を使用することが原則となっていますが、児童生徒の実態により適切でない場合は学校教育法附則第9条の規定により一般図書を選定することができます。

資料2ページから5ページの教科用図書については、千葉市立の児童生徒の該当者はいません。

通常学級の中に拡大教科用図書を使用している児童生徒は、13人います。

千葉市立の特別支援学校及び特別支援学級で学ぶ児童生徒の多くは、知的障害があります。一人一人の発達段階が様々であることと、障害の特性も多様であることから、できるだけ児童生徒の実態に対応できるようにするため、文部科学省検定済教科用図書、文部科学省著作の特別支援学校用教科用図書と併せて、学校教育法附則第9条の規定による一般図書を採択していただきたいと考えます。

学校教育法附則第9条の規定による一般図書の観点については、資料9ページをご覧ください。次に、10ページから13ページをご覧ください。

千葉県教育委員会から示された一般図書の一覧です。備考欄の※印は、本年度新たに県から示された図書です。千葉市の欄の印は、調査員会が採択を希望する図書です。そのうち○は昨年度に引き続き、◎は今年度新たに希望する図書です。

では、学校教育法附則第9条の規定による教科用図書、合計133冊について報告します。

はじめに、国語について報告します。

県教育委員会から44冊示されましたが、そのうち34冊を

選びました。すべて昨年度から継続して選んだ図書です。内容が適切で、指導の継続性や児童生徒に親しまれている図書が多いためです。今年度、県教育委員会で新たに選定された図書がなかったために新規に選んだ図書は、ありません。

続いて、算数・数学について報告します。

県教育委員会から27冊が示されましたが、そのうち17冊を選びました。新規本はありません。

続いて、生活・社会について報告します。

県教育委員会から34冊が示されましたが、そのうち28冊を選びました。新規に選んだ図書は、今回、県教育委員会で新たに選定された図書2冊です。NO33「運動が得意になる43の基本レッスン イラスト版体育のコツ」は6つの運動種目について視覚的に分かりやすく書かれており、徐々にステップアップできる構成になっています。詳しい調査報告は資料の40ページをご覧ください。そして、次のページのNO34「かおノート」も、新たに選定された図書です。内容は、巻末にある付属のシールを使って自由な発想で顔の表情を作ることができるので、顔の部位を覚えたり、表情をまねしたりと、発達段階に応じた活用ができると考えます。

続いて職業・家庭について報告します。

一般図書一覧の13ページをご覧ください。県教育委員会から22冊示されましたが、そのうち19冊を選びました。新規に選んだ図書は、今回県教育委員会で新たに選定された図書1冊です。資料48ページをご覧ください。「つくって食べよう！お料理マジック2」です。調理の手順が簡単で、イラストや写真でわかりやすく説明されています。一つの調理が見開きで示されているので、実際に調理する際にわかりやすくなっています。

最後に、外国語について報告します。

県教育委員会から6冊示されましたが、そのうちすべてを選びました。

以上ですべての報告を終わります。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等含め、何かありますか。

磯野教育長 ご意見、ご質問もないようですので、議案第79号「令和3年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の採択について」を、原案どおり可決したいと考えますが、如何でしょうか。

(「異議なし」という声あり)

磯野教育長 ご異議ないようですので、原案どおり、可決とします。

議案第80号 令和3年度使用千葉市立中学校用教科用図書の採択について

議案第81号 令和3年度使用千葉市立稲毛高等学校附属中学校用教科用図書の採択について

磯野教育長 議案第80号及び議案第81号については、いずれも中学校用教科用図書の採択についての議案ですが、事務局にお尋ねします。稲毛高等学校附属中学校の教科用図書の採択については、他の千葉市立の中学校の採択と別に扱うということによろしいでしょうか。

鶴岡教育指導課長 稲毛高等学校附属中学校を別採択とする理由及び両議案の一括説明についてお話しします。義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第3項には、「公立の中学校で学校教育法第71条の規定により高等学校における教育と一貫した教育を施すもの及び公立の中等教育学校の前期課程において使用する教科用図書については、市町村の教育委員会又は都道府県の教育委員会は、前2項の規定にかかわらず、学校ごとに、種目ごとに1種の教科用図書の採択を行うものとする。」と規定されています。

従って、議案第80号と第81号の採択はそれぞれ別に行うこととなります。

しかしながら、附属中学校は千葉市在住の生徒が在籍する学校であり、そのほとんどが市内の公立小学校を卒業しており、適性検査と面接により入学が決定していることから、まずは、他の中学校と同様に、基礎的・基本的な知識や技能の習得と、思考力・判断力・表現力の育成が求められています。

その上で、教科用図書の発展・課題ページ、副教材や独自教材を用い発展的な学習や中高一貫のカリキュラムによる学習がなされるのであり、附属中学校からは、ベースとなる中学校教育に用いる教科用図書としては、一般校と同じものを採択していただきたいという旨の希望が提出されています。

本市の選定委員会では、このような状況を考慮するとともに、採択の対象となる文部科学省の検定に合格した教科用図書については、同一のものとなることから、一括して調査研究を行って参りました。

本委員会においても、調査研究の結果について一括して説明

をさせていただいた後に、議案第80号、第81号のそれぞれを別に採択していただきたくお願いします。

磯野教育長 ただいま説明がありましたが、附属中学校については、義務教育を行う市立中学校として、教科用図書は、他の千葉市立の中学校と同じものを用いるという趣旨でした。委員の皆さん、この点について、ご意見、ご質問等ありますか。

(質問等なし)

磯野教育長 ご異議がなければ、議案第80号及び議案第81号については、一括して両議案の説明及び審議を行い、その後採決を行うこととします。

議案第80号「令和3年度使用千葉市立中学校用教科用図書の採択について」及び議案第81号「令和3年度使用千葉市立稲毛高等学校附属中学校用教科用図書の採択について」ですが、まず、教科用図書選定委員会の調査結果報告について、選定委員会委員長である教育次長から概略の報告をお願いします。

大野教育次長 議案第80号及び議案第81号について、千葉市教育委員会組織規則第8条第10号の規定により議決を求めるものであります。

私からは、これまでの教科用図書選定作業の概要について説明します。

経緯としましては、本年5月25日の教育委員会会議第5回定例会において決定された「令和3年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択方針」に基づき、附則第9条図書と同様に、教科用図書専門調査委員会を設置するなどして、教科用図書選定に係る調査研究等を行い、千葉市教科用図書選定委員会として「令和3年度使用教科用図書調査研究報告書」をとりまとめました。

報告書の内容については、後ほど教育指導課長より説明します。

磯野教育長 教科ごとの調査研究の報告に先だち、決定の方法についてお諮りします。

すべての教科用図書につき、投票により、これを決定したいと考えます。

なお、投票の順番は、文部科学省作成の教科書目録に記載されている種目により、国語、書写、社会（地理的分野・歴史的分野・公民的分野）、地図、数学、理科、音楽（一般・器楽合奏）、

美術、保健体育、技術・家庭（技術分野・家庭分野）、英語、道徳の順とします。

投票の方法ですが、各委員に配布します投票用紙に、無記名で、採択すべきと考える教科用図書の1つに「○」を記入し、投票してください。

本日の出席者は5人ですので、過半数の3票を獲得した教科用図書を採択することと決定したいと考えます。

過半数に達しなかった場合は、改めて意見交換等協議の上、得票のあった発行者に絞って、3回目まで繰り返し投票を行います。

ただし、過半数に達しないものの、2者が2票ずつ得票をしている場合には、その2者によって投票を行い、決定します。

3回の投票により決しない場合は、その際、決定方法について再度協議することとします。以上、よろしいでしょうか。

（「異議なし」という声あり）

#### 【国語】

磯野教育長 それでは、中学校用教科用図書「国語」に係る調査結果について、教育指導課長、説明をお願いします。

鶴岡教育指導課長 中学校国語科について報告します。

国語科の目標は、「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。」とあります。

本市生徒の学力については、平成31年度全国学力・学習状況調査の調査結果から、ほとんどの領域において全国平均正答率と同程度にあり、概ね良好な状態にあります。しかし、「書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して、読みやすくわかりやすい文章にすること」などの課題から、相手意識・目的意識を明確にした言語活動の展開や題材を通して、付けたい力や学習の目当て、学習過程が明確になっている授業づくりが求められると考えました。

従って、学習のねらいやゴールが明確に示され、見通しをもって学習が進めていけるよう工夫がなされていること、言語能力の育成を図ることができるよう配慮されていること、情報の扱いに関する技能を高めていくよう工夫されている教科用図書を選定する必要があると考えます。

観点については、資料をご確認ください。

次に、調査結果を具体的に説明します。

まず、「東京書籍」についてです。新しい学習指導要領への対応（1）では、全学年「話すこと・聞くこと」の題材が共通の学習の流れとなっています。1年生55ページから57ページに見られるように、まず目標を確認し、学習で身に付けるべき資質・能力を「言葉の力」として明記し、言語活動につなげています。そして、自分の言葉でまとめることによって、振り返りを行います。このように生徒が見通しを持って主体的に学習に取り組み、対話を通して課題を解決していくという構成となっています。

次に「三省堂」についてです。新しい学習指導要領への対応（2）では、情報と情報との関係を捉えたり、考えを整理したり、深めたりする方法が示されています。例えば、1年生142ページからの「複数の情報を関連づけて考えをまとめる」では、図やグラフの情報と文章で示されている情報を関連付けながら、示された課題について自分の考えをまとめ、「行事案内リーフレットを書く」という言語活動を通して、情報の扱い方を学ぶ構成になっています。内容（2）では、各学年6ページに「領域別教材一覧」が示されており、3年間を通して系統的、段階的に教材を配列し、既習事項を活用しながら、領域ごとの力が身に付けられるような構成になっています。

次に「教育出版」についてです。新しい学習指導要領への対応（2）では、全学年にSDGs教材「持続可能な未来を創るために」を設定し、生徒一人一人が現代的な諸課題に向き合い、自らの問題意識を高め、考えを深めていく構成になっています。2年生94ページでの「不平等のない社会を考える」では、最初の「問い」で課題を意識させ、次の「問い」で生徒同士の対話に導きます。最後の「問い」で自分の考えをさらに深めていきます。生徒が自ら課題を発見し、解決を図ったり、深く考えたりすることで、思考力・判断力を育成する工夫がなされています。

最後に「光村図書」についてです。新しい学習指導要領への対応（2）では、全学年の巻頭の折り込みページに、「思考の地図」として思考の広げ方、整理の仕方や深め方などを、図などを用いて簡潔に提示しており、その方法がどの教材で応用できるかもページを明記することで示しています。また、2年生32ページ「情報整理のレッスン 思考の視覚化」という教材ですが、

さらに思考のレッスン1、思考のレッスン2という教材につながるようになっていきます。情報の扱い方を習得するとともに、論理的に思考し、判断し、表現する力を養う構成となっています。内容(1)では、3年生の80ページからの「読書生活を豊かに」という単元では、ブックトークや読書会等の読書に関連した言語活動を行い、読書の広げ方や探し方を体験的に学ぶことで、日常の読書活動の充実につなげています。

教科書の大きさは、すべてB5判、各者とも、デジタルコンテンツは利用可能です。

以上です。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等を含め何かありますか。

和田委員 国語という教科が言語能力を育成する中心的な役割を担う教科ということもあり、そのことも考えながら読んで参りました。

今回、学習指導要領が新しくなったことで、国語としての見方・考え方というのが、言葉による見方・考え方というふうに表現されていて、さらに、言葉への理解や言語能力の育成ということに重点を置かなくてはいけないのかな、と思っているところです。それともう1点、学習指導要領で社会生活という言葉も多用されているように思います。

この社会生活とは、要するに身近なものに自分のこととして国語というものも捉えていかなくてはいけないのに、千葉市の子ども達の中では、学ぶ意味の実感が十分でない、実際の社会で何が役に立つのか、というようなことが課題だと伺いました。

そこで1点質問させてもらいたいのは、学ぶ意味の実感を得られるような題材ですとか、何か特徴的なことが各者あれば教えていただきたいと思います。

それともう1点、学習の手引き、学習のプロセス、学習課題を解決するプロセスなどで各社色々と工夫があつて、題材や教材のあとに色々な手法でアプローチしてきていると思うのですが、そこで何か特徴的なことがあれば教えていただきたいです。

宮野指導主事 2点についてお答えします。

先ほど、質問の中に社会生活を、というような文言がありました。

小学校の国語科は学習指導要領では日常生活を意識しています。

それを踏まえて、中学校国語科の学習指導要領では、社会生活

において国語が適切に使うことができるよう、目標に示しています。

千葉市の生徒の実態として、学ぶ意義について課題があるというのは、委員がおっしゃったとおりで、こちらについては、学習で学んだことが中学校の学習指導要領にあります「社会生活に結びつく」ということであれば、学ぶ意義が意欲となつてつながるのではないかと捉えています。

例えば教育出版の2年生では、社会で求められる能力として、職場体験学習のお礼状を書いたりですとか、多くの企業で作成が求められる提案書を作成したりという学習があります。

これらは教育出版2年生の65ページにその題材があります。

また光村図書の3年生62ページに、実用的な文章を読もうという単元がありまして、商品の取扱説明書であるとか、インターネット上の情報を読む単元が設定してあります。

このように各者とも社会生活を意識した教科書作りがなされていると報告を受けています。

併せて手引き、プロセスというようなお話がありましたけれども、目標やねらいを明確にして見通しを持って主体的に学習に取り組むということについては、各社とも、かなり意識をして、教科書作りがなされていると聞いています。

以上です。

小西委員 質問ですけれども、子ども達に馴染みがないのが古典かなと思うのですが、古典に関して、同じ題材であっても各者の取り上げ方がかなり違うなと思いました。

古典について、子どもの学びやすさであったり、先生方の教えやすさについて、各者の特徴であったり、専門調査員の方の意見があれば教えていただければと思います。

宮野指導主事 古典の学習についてお答えします。

中学校国語科の学習指導要領では、我が国の言語文化に関する事項という項目がありまして、伝統的な言語文化に親しむことに関する事項も含まれています。

各社とも古典の学習について、ほぼ同じような題材が取り上げられています。

例えば、3年生では、全者「おくのほそ道」が取り上げられています。

ただし、その中で立石寺の章段が取り上げられている出版者



と取り上げられていない出版者の差異があります。

また、同じ「おくのほそ道」でも、ほかの章段の多くの俳句を掲載していますけれども、それについて、口語訳が載っている教科書会社と載っていない教科書会社と分かれています。

それについては、原文を中心にしてリズムに注意深く当たることを目的にしているものと、原文にはこだわらずに口語訳や解説文でこの世界に触れられるというところで、それぞれ各者が工夫をされていて、学校の先生方も、そのようなところを踏まえて、学習作りができるのではないかと報告を受けています。

以上です。

磯野教育長 私からは感想も含めてお話しします。まず会社名を挙げて申し訳ないのですが、三省堂の「学びの道しるべ」について、学習の流れが明確になっているという印象を受けました。

今回、言語活動がキーワードになるわけですが、これは全教科で取り扱う内容だと思うので、その点においても、思考や表現に対しての単元構成がよくできているという認識を持ちました。

何より今、古典がありました。3年生の俳句の中で、今、テレビで話題の題材が載っていて、びっくりしました。これについては、生徒が興味関心を持って、取り組むし、私も楽しみに毎週見えています。このような点は子ども達の興味を高めるのではないかなという思いがありました。

教育出版は思考力の問題についてはかなり深く取り組んでいて、学びの課題についても的確に取り組んでいると思います。

特に、「学びナビ」に触れた中で、高校への連携などもしっかり取り組まれていますし、内容が充分だなという思いがありました。

三つ目が光村図書ですが、ここは読み物についてはかなり強い教科書会社で、読書や言葉に関しては非常に丁寧に題材が扱われていて、私個人的にはいいなと思います。

感想になりますけれども、この3点について意見を表明させていただきます。

竹田委員 課題が4つ挙げられていますが、いずれも学びの基礎となるのは読書力の向上だと思うのですが、この点で4者の教科書の中で特に特徴的な書籍があったら教えていただきたいです。

宮野指導主事 特徴的な書籍について、ご質問いただきましたので、お答えし

ます。

長い年月を経て普遍的に取り上げられている作品というのは、各者とも取り上げられていると考えています。

1年生、2年生、3年生それぞれに長い期間取り上げられているものがありますので、そのようなものが特徴的な読みものになって思考や表現力に結びつく題材であると思います。

例えば1年生ですと、説明文で「ちょっと立ちどまって」という作品があります。

そちらについては、各者ともかなり長い期間を取り上げられているものが多かったです。

3年生では、中国の作品で、魯迅の書いた「故郷」という作品もかなり長い期間で取り上げられていまして、そのようなものが特徴的な書籍とお考えいただければと思います。

以上です。

和田委員 意見になりますけれども、各者、学びのプロセスについては、先ほども説明いただきましたけれど、教育出版の「学びナビ」であるとか、東京書籍の「学びの扉」、三省堂の「学びの道しるべ」などなど、とても工夫されていて、どれをとっても教えやすいのではないかと、それが学びやすさに繋がるのではないかと思うのですが、そう感じました。

全体として拝見したときに、挿絵や資料のバランス、日本語をととても丁寧に扱ってくれていること、それから、情報の活用についても、様々なソースを提示してわかり易くまとめられていたり、全体を見てバランスが良くできているのが光村図書だと感じています。

巻末にある「言葉を味わう」というのが、とても美しく、日本語の美しさというものを、限定的な見方ですが、味わわせてくれると楽しく拝見しました。

小西委員 意見になりますけれども、どの者も題材の質は非常に高く、読書活動や社会生活にも配慮されているという中で、やはり千葉市の中学生にとってどれが最適かと考えたときに、思考というのが一つのポイントになってくるだろうと考えまして、私も教育出版もしくは光村図書が良いと考えています。

特に光村図書の「思考の地図」「学習の窓」が非常に具体的な手引きが丁寧で、話す・聞くという部分も、他社に比べて多少ではあるのですけれども、内容がより実践的であると感じました。

和田委員がおっしゃった「言葉を味わう」というところは、毎回ですけれども、国際化が進むからこそ、日本の持つ独特の季節感であったり、そのあたりの感覚を非常に大切にしていると感じました。

磯野教育長 ほかにご意見、ご質問等がないようですので、これより、令和3年度に、本市立中学校において使用する「国語」の教科用図書を決めます。

はじめに、発行者を読み上げます。

読み上げについては、文部科学省作成の教科書目録に記載されている発行者の番号順で行います。以降の教科についても同様とします。

それでは、採決に移ります。

中学校用教科用図書「国語」の発行者は4者、「東京書籍」「三省堂」「教育出版」及び「光村図書出版」です。

この4者から投票により決定します。

事務局より、投票用紙を配布してください。

(投票用紙の配布後、教育長・教育委員、投票。

事務局において、開票・集計し、教育長へ報告)

磯野教育長 ただいまの投票結果について報告します。

教育出版1票、光村図書出版4票。光村図書出版が過半数を得ましたので、これを採択することと決定したいと考えますが、如何でしょうか。

(「異議なし」という声あり)

磯野教育長 ご異議ないようですので、令和3年度に本市立中学校において使用する「国語」の教科用図書は、「光村図書出版」と決定しました。

## 【書写】

磯野教育長 次に、中学校用教科用図書「書写」に係る調査結果について、教育指導課長、説明をお願いします。

鶴岡教育指導課長 中学校国語科書写について報告します。

国語科書写の目標は、「書写に関する事項の内容を理解し使うことを通して各教科の学習活動や社会生活における言語活動に役立つ書写の能力を育成すること」とあります。

本市生徒の学力については、国語科において基礎的・基本的な学力の定着状況は県平均では上回っているものの、全国では

平均並みといった傾向にあり、関心や書く能力が課題となっています。また、本市生徒の書写力については、文字に対する意識は比較的高いものの、姿勢や執筆についてはやや課題があるという傾向にあります。

従って、書写の基礎・基本を重視し、系統的かつ効率的に教材が配置され、生徒が主体的に学べ、日常生活や社会生活へと結びつけられる書写力、つまり「生きて働く書写力」が身につく教科用図書を選定する必要があるものと考えています。

観点については、ご確認ください。

次に、調査結果を具体的に説明します。

まず、「東京書籍」についてです。

新しい学習指導要領への対応（3）では、教科書34ページなどの解説ページで、「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」といった学習過程の明示と、「書写のかぎ」といった教材のポイントの明示により、基礎・基本が確実に身につくように構成されています。

内容（3）では、72・73ページの「手書き文字と活字」で、日常生活と関わりのある資料を提示することで、文字意識を高められるように配慮されています。

次に、「三省堂」についてです。

内容（4）では、44ページ以降に代表されるように、毛筆で学習した行書を、硬筆の「なぞり書き」を多く取り入れることで、自力で繰り返し練習し行書の特徴を確実に身に付けられるよう工夫されています。また、62・63ページでは、小筆で学んだ「行書と行書に調和する仮名」を硬筆につなげていくことで、毛筆と硬筆の関連を図り、日常生活に生きるよう配慮されています。

続きまして「教育出版」についてです。

新しい学習指導要領への対応（1）では、まず8・9ページをご覧ください。

書写学習の進め方が教科書の冒頭ページにきちんと位置付けられ、主体的に学べるようになっていきます。また、学校生活や社会生活のさまざまな書く場面を提示することで、より深い学びとなるよう、よく工夫されています。（3）では、10ページにあるように、書写学習の目標や系統的な見通しが明示され、書写学習を通して学んでいく意義が生徒自身にもしっかり掴め

るようになっていきます。また、中学校の書写学習の最大の特徴である「行書」学習については、42・43ページのように、段階的に丁寧に紙面を割り、生徒の行書学習が確実に身につくようよく配慮されています。

最後に「光村図書」についてです。

内容(2)では、別冊「書写ブック」が大きな特徴となっています。これは、硬筆に特化した練習帳ですが、毛筆との関連が対応ページとして示されており、毛筆学習が硬筆学習に生かせるよう、よく工夫されています。新しい学習指導要領への対応(2)では、80ページからの「行書を活用しよう」や「全国文字マップ」で、国語や社会科、総合等との関連が図られており、日常生活や他教科にも生きて働く書写力の習得に配慮されています。

教科書の大きさは、東京書籍・教育出版がA B判、三省堂と光村図書がB 5判、光村図書は、別冊があります。

各者とも、デジタルコンテンツ利用可能です。

以上です。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等を含め何かありますか。

和田委員 基本的な質問で恐縮なのですが、各学年の書写の授業時間と、もし、硬筆と毛筆を何時間ずつ行うか、というのが決まっているようであれば教えていただけますでしょうか。

石塚指導主事 1年生と2年生が20時間程度となっています。3年生は10時間程度となっています。硬筆と毛筆との授業時数は特に定められていません。

和田委員 学校によってそれぞれ決めているということですね。

もう1点ですが、学ぶ目的というのが、習字を書いて何になるのだろうと思ってしまうと、子ども達にとって学ぶ意欲がなかなか出てこないところだと思います。社会生活との関わりが同じように謳われていると思うのですが、その中で、行書というのが日常生活にどう役立つのか、それから中学1年生にとって、行書は新しい文字を見るような気持ちだと思いますが、行書の学びやすさで、各者工夫されている特徴的なことがあれば教えてください。

石塚指導主事 行書については、中学校書写の大きな特徴となっているので各者工夫されています。

書く速さの比較ですとか、日常にある行書の文字をコラムに

載せていたりとか、各者工夫されています。例えば、教育出版社は14ページを使い、楷書から行書への流れを示しています。

また、各者、日常的に使える便箋、封筒、はがきの使い方、送り状、のし袋、願書、原稿用紙の書き方など、どの者も、これらの書き方を載せ、日常生活に活かせるように工夫されています。

磯野教育長 私から意見を述べさせていただきます。文字が見開きで学習しやすいという観点からすると、製本やカラー等含めて、教育出版が学習をしていくには使いやすいかないという思いがあります。

それぞれ特徴ありますが、1点だけ、大きさによっての資料の違いがあるのか、そこだけ教えてください。

石塚指導主事 大判のものは東京書籍と教育出版になります。

こちらは半紙の教材が、余白だとか配置だとかを半紙を意識して学べるようになっていきます。

小さいものだと、そこに目標やタイトルが入るので半紙の形や余白の意識が低くなってしまいますので、大きいものは、脇に組み立てができていますので、半紙の形を意識できるようになっています。

竹田委員 本市の中学生の課題の一つに、目的や必要に応じて適切に書くということが書いてあります。

TPOということですが、そのためには、書く以前に筆記用具の選択もかなり重要になると思います。

特に1年生は、楷書から行書に移行する大事な時期だと思いますので、しかも硬筆にもボールペンがあったり鉛筆があったり、場合によっては万年筆とかあります。

この点について見ていたのですが、例えば東京書籍は、69ページに筆記用具7種類の解説があり、ハンドブック3ページにも適切な用具や書体の記述があります。

教育出版も83ページに筆記用具5種類のわかり易い解説が書いてあるので、他の2者にも記載はあるのですが、具体性に乏しいので少し物足りないなと思います。印象です。

千葉委員 読ませていただいたのですが、このところ、教科書を見てただ写すだけの作業になってしまっているところがあるので、その点で、字の一つ一つとか、それから跳ねや払いなど、そのようところが説明されているところがよかったなというところで

選ぶ基準になりました。

小西委員 意見になりますけれども、私は教育出版がいいと思っています。

理由としては3点ありまして、まず行書の指導は子ども達にとっては馴染みがないと思いますので、そこが非常に丁寧に書かれてあったということ、半紙のお手本が実物に近いということ、お手本の中に中心線であったり、薄い点線で字の形が書かれていたので、子ども達にとっては学びやすいだろうと感じました。

そのほかにも、個人的には、教育出版のコラムが、豊富な写真とともに、伝統文化であったり、歴史などが紹介されていて読んでいて興味深かったです。

和田委員 1点質問させてもらいたいのですが、これまでも長く、千葉市では、国語については光村図書を、書写については教育出版というように、違う出版者の教科書を採択してきましたけれども、それで特に現場から不都合があるというような報告は挙がってきているのでしょうか。

石塚指導主事 そのような点では、報告は挙がっていません。

和田委員 私も小西委員と一緒になのですが、教育長がおっしゃったように、教育出版が、巻頭に社会生活との関わりですとか、姿勢と用具の使い方といった基本的なことを、きちんと押さえてくれていて、書写を学ぶ目的などがわかりやすく子ども達にも伝わるだろうなということ。それから、行書が非常にわかりやすく、12歳、13歳の子どもにもわかりやすく伝えてくれているなということ。あと、説明にもありましたが、「書式の教室」というところで、様々な興味を引き出していたりということで、非常にバランスよく、見やすくできている教科書だなと感じています。

磯野教育長 その他にご意見等ありませんか。

《意見なし》

磯野教育長 ご意見、ご質問等ないようですので、これより、令和3年度に、本市立中学校において使用する「書写」の教科用図書を決定します。それでは、採決に移ります。

中学校用教科用図書「書写」の発行者は4者、「東京書籍」「三省堂」「教育出版」及び「光村図書出版」です。この4者から投票により決定します。事務局より、投票用紙を配布してください

い。

(投票用紙の配布後、教育長・教育委員、投票。  
事務局において開票・集計し、教育長へ報告)

磯野教育長 ただいまの投票結果について報告します。

教育出版5票。教育出版が過半数を得ましたので、これを採択  
することと決定したいと考えますが、如何でしょうか。

(「異議なし」という声あり)

磯野教育長 ご異議ないようですので、令和3年度に本市立中学校におい  
て使用する「書写」の教科用図書は、「教育出版」と決定しま  
した。

### 【社会（地理的分野）】

磯野教育長 次に、中学校用教科用図書「社会（地理的分野）」に係る調査  
結果について、教育指導課長、説明をお願いします。

鶴岡教育指導課長 社会科、地理的分野について報告します。

社会科の目標は、「社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す」とあります。

本市生徒の学力については、「平成30年度の千葉県学力調査結果」から、社会科全体の観点について、「関心・意欲・態度」及び「知識・理解」の2観点において、県平均正答率を下回っている状況です。

各領域を問題の内容から判断すると、本市生徒には、基礎的・基本的な知識や技能の習得及び活用を図るとともに、様々な資料から必要な情報を読み取り、地理的な見方、考え方を働かせ、根拠を持って表現させるような学習を継続的に行う必要があると考えます。

観点については、資料をご確認ください。

次に、調査結果を具体的に説明します。

まず、「東京書籍」についてです。

新しい学習指導要領への対応(1)では、98、99ページ、  
アフリカ州の学習の単元末のページをご覧ください。「みんな  
でチャレンジ」では、この章のまとめの学習として、学習した内  
容を踏まえ、アフリカの課題について、それぞれのグループが、  
3つの側面から、その背景や理由を話し合います。99ページ



にあるような図を作成していくと、思考が深まっていく様子を視覚的にも確認することができます。

内容（１）では、１１１ページをご覧ください。一番上の「資料を活用する力をきたえよう」では、写真や表のデータを比較することで、アメリカ合衆国の農業の特徴について学習します。写真は、小学校で学習した日本で最も広大な耕地で農業を行う十勝平野の写真と比較することができるように配慮されています。

次に、「教育出版」についてです。

新しい学習指導要領への対応（２）では、１２７ページをご覧ください。オセアニア州の学習の単元末のページになります。ここでは、基本的な語句の確認をするとともに、地図や統計資料を使って単元の学習を振り返り、意見交換をすることで、オーストラリアの課題について学習することになります。

次に「帝国書院」についてです。

新しい学習指導要領への対応（１）では、１３０ページをご覧ください。ここでは「身近な地域の調査」をするための技能を身に付けることを、大きなねらいとしています。ページをめくっていくと、１４１ページまでの間に７つの「技能をみがく」が配置されています。これにより、地図の読み取りや調査方法の技能を確実に身に付けることが可能となります。さらに９４ページをご覧ください。北アメリカの導入部の見開き２ページの写真資料は、他者と比較しても大変印象的なものです。

最後に、「日本文教出版」についてです。

新しい学習指導要領への対応（３）では、巻頭の「地理との出会い」において、地理的な見方・考え方について、５つの視点を明らかにしている点の特徴としてあげられます。また、各ページにおいて、「学習課題」とセットで示すことによって、地理的認識を育むように構成されています。

教科書の大きさは、すべてＡＢ判、デジタルコンテンツは利用可能です。

以上で社会科・地理的分野の報告を終わります。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等を含め何かありますか。

和田委員 千葉市の子供も達の社会科全体にわたる課題だと思うのですが、基礎的・基本的な知識や技能の習得に課題があると書かれています。今回、教科書を４者拝見しますと、教科用図書の中の

情報量がとても多くて、この中でどうやって基礎的な部分を押さえて教えていくのかなということを教えていただければと思います。

基礎的・基本的な知識の習得に使いやすいような教科用図書の特徴があれば教えてください。

小石主任指導主事 基礎的・基本的な知識や技能を定着させるための工夫として各者工夫がされているのですが、例えば帝国書院17ページ「確認しよう」で定着を図ったりですとか、「技能をみがく」ということで技能の習得を図ったりするという工夫がなされています。

そのほか、東京書籍の13ページにおいて、「スキル・アップ」の学習に、そのような形で必要な技能の定着を図るなど、工夫がなされています。

また、教育出版の46ページでは、確認のページであったり、学習のまとめのページを設けることで、基礎的・基本的な知識、技能の定着を図る工夫がなされています。

磯野教育長 意見を述べさせていただきます。今説明があったように、本市の生徒にとっては課題があるわけですが、そのような中でも多様な資料から課題を見つけるという点において、また、主体的な学習を進めるという点について見た中では、私は東京書籍、帝国書院、日本文教出版かな、というふうに思いました。

そして先ほどから話題になっている、社会的事象の見方、考え方を育むような内容が継続的に配列されているという点では、東京書籍、帝国書院、そして、何よりも本市の生徒が劣っている部分がありますので、振り返りとか、対話的な活動、深い学びを実現するうえでも、東京書籍、帝国書院が優れているという認識を持ちました。

竹田委員 本市の課題として、エネルギー問題や気候、日本列島の属する造山帯とグラフを読み取る技能問題が取り上げられていますけれども、教育長もおっしゃったように、グラフを読み取る技能などに関しましては、私も東京書籍が一番内容的には、例えば「資料からの発見」とか、地形図の読み取り方、資料を使った調査、資材活用に非常に優れた記載が多いように思います。

また「スキル・アップ」での資料の見方は他の3者に比べて、より充実して、他の3者も色々書いてありますが少し物足りない感じがしました。

エネルギー問題では日本は火力発電が多いことが書いてあるわけですがけれども、残念ながら日本文教出版には日本の発電量の内訳が書いてないので、少し問題かなと思いました。

あと些細なことですがけれども、気候のところ、東京書籍と帝国書院は非常にわかりやすくまとめてあったのですが、残念ながら東京書籍の雨温図からの理科年表の引用が、誤植だと思いますが、1年間ずれていましたので、もし東京書籍を採用するのであれば、通達した方が良いでしょう。

和田委員 私も意見になります、拝見して、それぞれの特徴があるのですけれども、東京書籍が写真・図表・文字のバランスが非常にわかりやすい、「地理にアクセス」というコーナーで、プラスアルファの知識が得られるところも良いと思いました。また、先ほど教育長もおっしゃられましたが、対話的な学習の例が非常に多く載っているという点でも使いやすかったです。

一方、帝国書院は、地図にも定評があるところからか、地図を利用したような記述がとても素晴らしくて目を見張るようなところがありました。

また、私に老眼が入ってきたからかもしれないのですが、活字が他者と比べて多少濃いようなところがあって、白い紙面と比べて濃淡がはっきりしていて、私にとっては少し見づらく、子ども達にとってはそんなに問題にはならないのかもしれませんが、それが少し引っかかるころではあります。全体として、東京書籍に関しては、毎回そうなのですが、下の欄外にある「チェック」や「トライ」という部分でも、先ほど指導主事からも説明がありましたように、確認ができるので、良いのかなと考えています。以上です。

磯野教育長 その他にご意見等ありませんか。

《意見なし》

磯野教育長 ご意見、ご質問等ないので、これより、令和3年度に、本市立中学校において使用する「社会（地理的分野）」の教科用図書を決定します。

それでは、採決に移ります。

中学校用教科用図書「社会（地理的分野）」の発行者は4者、「東京書籍」「教育出版」「帝国書院」及び「日本文教出版」です。

この4者から投票により決定します。

事務局より、投票用紙を配布してください。

(投票用紙の配布後、教育長・教育委員、投票。  
事務局において、開票・集計し、教育長へ報告)

磯野教育長 ただいまの投票結果について報告します。

東京書籍、5票。東京書籍が過半数を得ましたので、これを採  
択することと決定したいと考えますが、如何でしょうか。

(「異議なし」という声あり)

磯野教育長 ご異議ないようですので、令和3年度に本市立中学校におい  
て使用する「社会(地理的分野)」の教科用図書は「東京書籍」  
と決定しました。

### 【社会(歴史的分野)】

磯野教育長 次に、中学校用教科用図書「社会(歴史的分野)」に係る調査  
結果について、教育指導課長、説明をお願いします。

鶴岡教育指導課長 社会科、歴史的分野について報告します。

社会科の目標は、先に述べましたので省略します。

歴史的分野では、次の3つの目標が示されています。ご確認ください。

さて、本市生徒の学力については、「平成30年度の千葉市学  
力調査結果」から見ると、平均正答率は、59.7%であり、達  
成率を0.5ポイント下回っています。歴史的分野の領域別正  
答率では、達成率と比較すると「近世の日本」は良好ですが、  
「開国と近代日本」は正答率、達成率ともに下回っているとい  
った傾向があり、今後も社会的事象についての関心・意欲を高  
めるための工夫、及び基礎的・基本的な知識、概念や技能の修得  
とその活用をより一層図ることが課題となっています。

従って、歴史的事象への関心を高めるため、写真や資料、図、  
地図等が充実しており、鮮明で活用しやすいこと、言語活動を  
重視した「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫が  
あること、地理的分野及び公民的分野との関連に配慮している  
教科用図書を選定することが必要であると考えます。

観点については、ご確認ください。

次に、調査結果を具体的に説明します。

まず、「東京書籍」についてです。新しい学習指導要領への対  
応(1)では、53ページをはじめ、20カ所の「スキル・アッ  
プ」で資料の読み取りなど、基礎的・基本的な技能を身につけ、  
「身近な地域の歴史」を含め、歴史学習に必要な技能を確実に

定着させるよう工夫されており、優れた構成となっています。内容（２）では、各章のまとめの活動で、学んだ知識をもとに、思考の整理に適した多彩な思考ツールが提示してあり、主体的に思考・判断した内容を適切に表現する力が身につくよう工夫され、優れています。例えば、60ページの「くらげチャート」では、自分の主張を整理する場合に有効です。

続いて、「教育出版」についてです。新しい学習指導要領への対応（２）では、各ページ見開き右ページ下には「確認」「表現」というまとめの学習が設定され、授業をふり返る活動が工夫されており、生徒の理解を助ける優れた構成となっています。内容の（２）では、56ページ「原始・古代の日本と世界」に見られるように、各章の学習をふり返るための図表が用意され、学習した知識や思考の過程を再確認することができるようになっており、優れた構成となっています。

次に、「帝国書院」についてです。新しい学習指導要領への対応（２）では、58ページをはじめとする各章12カ所に「タイムトラベル」が設定されており、時代の特色を大きくイラスト化し、歴史的な見方・考え方を働かせて、時代の特色をつかむことができる学習活動が設定されており、よく工夫されています。内容の（３）では、32、33ページの「歴史を探ろう」は地域の歴史を取り上げ、当時の社会を地域の視点から見ることで、日本の歴史を多面的に捉えることができるように工夫されており、優れた構成となっています。

次に、「山川出版社」についてです。58ページの「地域からのアプローチ」では、地域の歴史学習を通して現代や地域と歴史を繋げる力を養う学習活動が設定されています。このような活動の上に、「歴史へのアプローチ」では、時代を通した視点やポイントを絞った視点からテーマを設定し、歴史の理解を深める優れた構成となっています。

次に、「日本文教出版」についてです。

新しい学習指導要領への対応（１）では、34ページの「チャレンジ歴史」に見られるように、主体的な学びを促す課題設定がなされ、生徒の発達段階に応じた教材が掲載されており、ステップに沿って対話的な学びを促すことができます。

次に、「育鵬社」についてです。

新しい学習指導要領への対応（２）では、64ページの「歴史

のターニングポイント」に見られるように生徒たちが「もし、その時、自分が当事者だったら」という意識で、各時代の大きな出来事について、様々な資料をもとに詳しく掘り下げて考え、議論できるよう工夫されています。

続いて、「学び舎」についてです。

内容(2)では、134～135ページの「学習のまとめ」に見られるように、地図や年表などを活用して基本的な知識の定着を図り、歴史的事象を様々に関連付けたり、時代の特色に沿った表現活動を通して意見を交換したりできるよう工夫されています。

教科書の大きさは、学び舎のみA4判、他すべてA5判です。

以上で社会科・歴史分野の報告を終わります。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等を含め何かありますか。

磯野教育長 では質問ですが、資料によりますと地理的分野と公民的分野とかなり関連してくると思うのですが、この辺の考え方について報告が挙がっていたら教えてもらいたいのが1点、そして、内容について、文部科学省の検定を通過していますが、適切に取り上げられているかどうかの報告が挙がっていたら教えてもらいたい、この2点についてお願いします。

小石主任指導主事 今回は各発行者とも、他教科との教科関連であったり、地理・歴史との関連であったりするところが多く見られます。

東京書籍においては、ページごとに地理又は公民との「教科関連マーク」が設定されており、例えば領土の問題のところを見てもうと、180、181ページでは、地理や公民との関連ということで、QRコードを使って、地理や公民との関連が図られるようになっています。ただ、他の出版社に関しても、そのような他教科との関連ということで、帝国書院では、地理や公民との関係や小学校との関連などの工夫がなされています。それと、内容についてですが、例えば教育基本法の目標と照らし合わせて、公共の精神や文化の尊重に関してはどの出版社もそれぞれ触れています。学習指導要領の改訂に関してもどの発行者とも触れています。例えば歴史ではムスリム商人、いわゆるイスラム商人について、触れるようになってはいるのですが、山川出版の108ページでは、「ユーラシア大陸と海でつながる世界」であったり、また、日本文教出版の110ページから111ページ「ムスリム商品の活躍」に見られるように、いくつか

のところで特設ページを作ったりだとか、今までにはあまり触れられていなかった、またはテーマ学習で扱われていたものが、今回は1時間の授業として扱うこととしており、今回、歴史がプラス5時間になったのですが、その理由であるというように聞いています。

磯野教育長 確かに、今回、歴史的事象を系統的に配列し、学習のまとめを発展的な学びにつなげる点では各者とも大変工夫されていると感じています。私からは以上です。

和田委員 今回、新しい学習指導要領になって、中学校の中でも世界史の充実や主権者教育についても触れるようにということが新しく加わったと思うのですが、この2点について各者の取扱いで特徴的な部分があれば教えてください。

小石主任指導主事 世界の歴史を中学生になってから初めて学習することになるので、千葉市の課題でもあるのですが、例えば、ヨーロッパの様々な革命、そのようなところからの正当率が少し劣っているという課題があります。

そのような点では、各者工夫があり、例えば教育出版では150ページ、ここではアメリカの独立、又はフランス革命ということをも明記しているのが「代表なくして課税なし」ということで、教育出版では、単元の見出しのところに特徴があります。

また、帝国書院の148ページ、ここでも「市民革命の始まり」ということで、これは多くの出版社でも提示しているのですが、アメリカの独立当時の国旗から現在の国旗の違いであるとか、アメリカ独立戦争から次のページのフランス革命に至る背景というものを詳しく説明しています。

同じように東京書籍の150ページ、ここでも「イギリスとアメリカの革命」からフランス革命、そのような歴史の流れというものを学習するように工夫されています。

千葉市でも、このあたりから、この世界の歴史と同じ時代の日本の歴史を考えるとということが、子ども達は苦手ですので、それを教える側では、しっかり同じ時代にどのような出来事があったのか、世界と日本の歴史の比較というものを押さえる必要があると思います。

そのような点では1点、教科書の方に年表スケールがあることで、それを授業の中で、補助できるのではないかなと考えています。以上です。

和田委員 意見になるのですが、今説明がありましたようにスケールが横であったり、縦であったりと採用している発行者があるということですが、その時その時自分が今どこの時代を学習しているかということが、世界と日本と両方とも同時に学習でき、非常に良いかなというふうに思いました。

それに加えて東京書籍の思考ツール、先ほど説明いただいた「くらげチャート」など、の利用が随所に見られますけれども、これは社会の学習だけではなくて、他の教科に関しても、それから大きく言えば人生に関しても、このような考え方のツールを持っていることが有用になるのではないかと感じました。

一方で、帝国書院はタイムトラベルというのが目新しく感じました。絵本仕立てで中学生にはどうなのかと最初は思ったのですが、自分がこの時代にいるかのような印象を持ちながら学習するというのは子ども達にとって、歴史を身近に感じるこのできる有用な手段になると思いましたので、目を惹かれたところではあります。

竹田委員 課題の中で、特に「開国と近代日本」の正当率、達成率ともに下回っていることなのではあるのでしょうか。

また、この辺を克服するために工夫されている教科書はあるのでしょうか。

小石主任指導主事 先ほども申したとおり、近現代社会から世界史が入ってきて、世界と日本の歴史を同じように学習しなければいけないというところで、やはり生徒の苦手意識というのがあると思います。それを克服するために、やはり歴史的な資料をどう解説して教科書に掲載しているかという点が、一つ重要なことかなと思っています。例えば、これも、本市の学力状況調査により、若干正答率が低いとされているのが「明治維新の五箇条の御誓文等」の場面になります。例えば東京書籍の168ページに五箇条の御誓文の資料が載っていて、そこに解説が載っています。この五箇条の御誓文の解説に関しては、他の教育出版、帝国書院、育鵬社、学び舎に掲載されています。それと同時に、一般の庶民にも配付された「五榜の掲示」というものがありまして、その史料に触れられているのが、日本文教出版、学び舎、山川出版、東京書籍です。このような総合的に資料を見ながら考えさせるというところが特色のある教科書になると思いますので、どういった資料をどこで扱うかというところが、やはり近現代



史を克服するための資料としては重要であると思います。あと1点、少し分野は先になるのですが、日露戦争のところで、教育出版の191ページ、「火中の栗」の資料について、以前から代表的に掲載されている資料ですが、日英同盟の風刺画や、その下の日英同盟を記念して発行された絵はがきという資料も載ってまして、我々教員としては日英同盟のところで日本とイギリスの両方にとってプラスであった同盟だと説明をするのですが、当時の日本とヨーロッパの強国であったイギリスとが対等ということはなかなか難しいとらえ方だなというところで、イギリスで発行された絵葉書を見ると、やはりイギリスでも同じような考えを持った人もいたんだなというところで、そのような部分の知識の定着が図られるというように考えています。以上です。

竹田委員 もう1点ですね。資料や教材を鮮明でわかりやすく活用、というところで特色のある教科書がありますでしょうか。例えば開国・近代日本を見ていると、明治の銀座の錦絵や西南戦争の錦絵、いろいろな史料や挿絵・風刺画とか共通で掲載されているものも多いのですが、全く何の説明もないまま掲載されているものは何だろうと疑問に思うものもあります。結構詳しく説明しているのは東京書籍と帝国書院の印象がありました。感想です。

小西委員 意見になるのですが、歴史については陳情もたくさん出ているところで、全科目中一番時間をかけて面白く読ませていただきました。各者それぞれ工夫されている点がありまして、個人的にはこの発行者のこのまとめ方がいいけれども、このテーマは、別の者がいいと思うところもあって、一番優れている発行者を決めるのは非常に決めづらいという感想です。ただ、やはり全ての者が文部科学省の検定を通過していますので、一般的な中学生が学ぶには十分に必要な歴史的事実と背景は書かれていると思っています。その中で個人的に何を基準として考えたかという、まず形式的な部分では、歴史というのは、やはり大きな流れをつかむというのが一番大切だと思いますので、各ページにスケールがきちんと記載されていることが子どもにとってはいいだろうと思ひまして、スケールがついている者に絞りました。内容面に関してはどの者も写真、史料や図は非常に見やすく綺麗ですし、やはり千葉市の生徒の抱える課題という

ところを重視しました。これは歴史だけではなく、地理や公民にも共通していることかと思うのですが、千葉市の子ども達は、やはり関心・意欲・態度が低いというのが出ています。つまりは目的意識を持って自分から主体的に学ぼう、ということが弱いというところですので、求められる教科書としては、目的意識をもって主体的に学べるもの、つまり、導入部分ではこれから何を学ぶのかがしっかり明確になっているもの、そして振り返りやまとめの部分では、子ども達が自分の頭で、自分の考えを可視化して、自分自身でまとめやすいような内容になっているもの、全体的には子ども達自身が、自ら、何が疑問なのだろうか、なぜだろうというような、それぞれの子ども達の問いかけや疑問、そのようなところを引き出せるような記載の多い者を選びました。

以上の点を考慮すると、私は千葉市の子ども達には東京書籍が一番適しているのかと思っています。

磯野教育長 私はいつも社会科に関しては、教科書の問題だけではなく、指導者の知識、理解が大きく影響してくるというように思いますし、担当からも説明があったように、詳しい先生に教われば好きになるでしょうし、どの教科も同じなんですけど、導入部分でどういうふうな興味付けをして、見通しを持って学べるかということで生徒が主体的に課題を解決していくという教科書を選定していく必要があると思います。

そのような意味では小西委員と同じで、東京書籍が優れているのかな、という意見を述べさせていただきます。

磯野教育長 ご意見、ご質問等ないようですので、これより、令和 3年度に、本市立中学校において使用する「社会（歴史的分野）」の教科用図書を決めます。それでは、採決に移ります。

中学校用教科用図書「社会（歴史的分野）」の発行者は7者、「東京書籍」「教育出版」「帝国書院」「山川出版社」「日本文教出版」「育鵬社」及び「学び舎」です。

この7者から投票により決定します。事務局より、投票用紙を配布してください。

（投票用紙の配布後、教育長・教育委員、投票。

事務局において、開票・集計し、教育長へ報告）

磯野教育長 ただいまの投票結果について報告します。

東京書籍、5票。東京書籍が過半数を得ましたので、これを採

択することと決定したいと考えますが、如何でしょうか。

(「異議なし」という声あり)

磯野教育長 ご異議ないようですので、令和3年度に本市立中学校において使用する「社会(歴史的分野)」の教科用図書は「東京書籍」と決定しました。

### 【社会(公民的分野)】

磯野教育長 次に、中学校用教科用図書「社会(公民的分野)」に係る調査結果について、教育指導課長、説明をお願いします。

鶴岡教育指導課長 社会科、公民的分野について報告します。

社会科の目標は、先に述べましたので省略します。

公民的分野では、次の3つの目標が示されています。ご確認ください。

本市生徒の学力については、「平成30年度の千葉市学力調査結果」から、4観点中「知識・理解」と「関心・意欲・態度」が県平均を下回っています。小学校では同じ観点が、小5で県平均とほぼ同じであることを考え合わせると、基礎的・基本的な知識の習得とねらいを明確にした授業の工夫改善を図り学習意欲を向上させることが課題となっています。

従って、基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着が図れるように、適切な単元が構成されていること。

事例を具体的に示し、生徒の学習意欲の向上につながるような配慮がされていること。

地理、歴史学習との関連及び小学校社会科の学習との系統的な接続を図るように配慮された教科用図書を選定する必要があります。

観点については、ご確認ください。

次に、調査結果を具体的に説明します。

まず、「東京書籍」についてです。

新しい学習指導要領への対応(2)では、14ページをご覧ください。他教科との「関連マーク」を表示し、教科横断的に活用できるよう、よく配慮されています。

内容(1)では、129ページに「探求のステップ」が示されています。各単元の「導入の活動」のページにあり、単元を貫く問いを指導者が考えやすいように、良く工夫されています。

次に「教育出版」についてです。

新しい学習指導要領への対応(2)では、15ページ下の「S

D G s」に見られるように、全編を通して「関連するSDG s」を表示することで、最終章で教科横断的な視点で考察できるように良く工夫されています。

次に「帝国書院」についてです。

新しい学習指導要領への対応（1）では、111ページの「あなたが無人島に漂着したら？」では、分業と交換について考える工夫がなされています。このような見方、考え方を働かせながら意見交流する学習「アクティブ公民」を、全部で10か所配置し、主体的・対話的で深い学びの実現のためによく配慮されています。

また、内容（4）では、章末などの「二次元コード」で生徒が自主的に学習できるような配慮が見られます。

次に「日本文教出版」についてです。

新しい学習指導要領への対応（1）では、各ページに学習課題とともに「見方、考え方」を働かせる問いが示されています。116ページの「明日に向かって まちづくりに参加しよう」に見られるように、社会参画を促す題材や学習活動が設定されているなど、よく配慮がされています。なお「明日に向かって」は全部で8か所設けられています。

次に「育鵬社」についてです。

内容（4）では、14、15ページの「学習を深めよう」や24、25ページ「やってみよう」に見られるように、発展補完的内容が多く用意され、個の学びへの対応ができるように配慮されています。なお「学習を深めよう」は全部で49か所、「やってみよう」は全部で17か所、設けられています。

次に「自由社」についてです。

新しい学習指導要領への対応（3）では、94ページ「アクティブに深めよう 新聞を読み比べてみよう」に見られるように、社会生活と関連した実践的課題を主体的に追求し、多面的・多角的に考察する能力を育むことができるように配慮されています。

教科書の大きさは、すべてA B判です。

以上です。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等を含め何かありますか。  
和田委員 千葉市の生徒の学力と今後の課題にある、子ども達に対して、「単元全体を貫く問い」及び「本気で考えたい課題」の設定

に努め、とあるのですけれども、中学生にとって、本気で考えたいくなる課題というのを設定するというのは非常に難しいことだと思います。社会で起きていることを今、自分たちの学習していることに引き寄せて考えなくてはいけないという点で、本気で考えたいくなるような課題という、この設定について、各者の設定の仕方、資料の取り入れ方について、何か特徴的なことがあれば教えてください。

小石主任指導主事　まず公民という分野は一番、日常生活に関わり合いを持つ教材が多いと思います。先ほどの課長の説明の中にもあったように、例えば、身近なものを導入の資料として、まず子ども達に考えさせるっていうものが必要ではないか思っています。例えば、東京書籍の資料にもありましたけれども128ページ、129ページの「コンビニエンスストアの経営者になってみよう」のところで、身近にあるコンビニをテーマにして、経営者になってみようというところから考えさせるものであったり、同じく東京書籍の38ページでは、これから基本的人権を学ぶ上で「ちがいのちがい」ということで、その子ども達の思考を揺さぶるような導入資料があったりします。また、日本文教出版では、34ページ・35ページのように、「文化祭の出し物を決めよう！」というように、中学生の学校生活に照らし合わせて、このような課題を導入の資料としていたりだとか、育鵬社であれば、各導入のところに、例えば76、77ページ「政治の入り口」ということで、政治や経済の分野であったり、まず導入としてこのようなことを考えてみよう、このような学習をするよっていうところで指示があるというのは、やはり学習を進めるにあたって、子ども達の方が今後、学習課題を本気で考えたいくなるということに結びつくのではないかなと調査研究では聞いています。

竹田委員　課題の中で、やはり「関心・意欲・態度」と「知識・理解」が低くなる現状があるということで、各者の導入部で生徒に何とか関心や興味持ってもらいたいという工夫が随所に見られるのですが、特に印象に残ったことは、先ほど説明がありました、東京書籍の導入の活動、特に憲法のところですね。他者の導入部分に、まず基本三原理ですとか、条文を出して導入していることが多いのですけれども、この東京書籍の「ちがいのちがい」というところで、38ページで9枚のカードを出して、あっても

いい違い・食文化など、あってはならない違い・児童の労働など、このようなものを考えさせて、それを公正と公立のキーワードをもとに憲法の話に持っていくという、非常にわかりやすい導入部分として優れていると感心しました。あと、SDGsに関しては、すべての教科書で記載されているのですが、中身が濃いと思ったのは教育出版と東京書籍という印象がありました。あと、グローバル化については色々書いてあるのですが、やはりこの教育出版と東京書籍が、貧富の差とかグローバル化の負の部分にもかなり深く言及しているので、詳しく書いているな、という印象を持ちました。以上です。

小西委員 意見になります。先ほど歴史で述べた理由と同じですが、千葉市の生徒の課題により対応していると思ったのは帝国書院と東京書籍で、私はこの2者で非常に悩みました。前回の採択と比べても、非常に2者が似通ってきていて、両者とも内容も充実しており、どちらにしようか非常に迷いました。帝国書院について良いなと思った点は、「公民プラス」という形で幾つか掲載されているのですが、ある社会的な問題を取り上げたときに、賛成意見と反対意見がしっかりわかりやすく書かれていました。これは子ども達が偏見を抱かず自分たちの頭で考えやすくだらうと思いました。また、先ほど竹田委員もおっしゃっていましたが、東京書籍の「ちがいのちがい」という部分が一番特徴的だと思うのですが、その章で学ぶテーマの本質を突いていて面白いなという印象を持ちました。また、今回については、生徒の学びやすさや先生の教えやすさという点で、歴史や地理と同一発行者の教科書を使う方が良いのかどうかという観点も含めて検討し、私は東京書籍が良いのではないかと思います。

磯野教育長 私も意見を述べさせていただきます。先ほど説明があったように、小学校との連携、地理歴史との関係をどのようにするかについて、横断的な活動とか考察ができる内容になっているといった点では、東京書籍と教育出版が優れているのではないかなと思いました。そして先ほどから出ているように、身近なものとして考えていく中で、地域性をどこまで考慮すればよいかという問題もありましたが、先ほどの紹介で出たのが船橋市だったので、それが千葉市であって欲しいなと思いますけれども、そのようなことは教科書と関係ないのであ

まり言いませんけれども、やはり、その地域に適合していく中でどのように教えていくか、いつも社会の先生方に負担がかかってしまい、申し訳ないのですが、やはり先生方にはこの「教科書を教える」のではなく、「教科書を使って」学びを充実させていただければという思いはありますので、意見として述べさせていただきます。

磯野教育長 ご意見、ご質問等ないようですので、これより、令和3年度に、本市立中学校において使用する「社会（公民的分野）」の教科用図書を決定します。

それでは、採決に移ります。

中学校用教科用図書「社会（公民的分野）」の発行者は6者、「東京書籍」「教育出版」「帝国書院」「日本文教出版」「自由社」及び「育鵬社」です。この6者から投票により決定します。

事務局より、投票用紙を配布してください。

（投票用紙の配布後、教育長・教育委員、投票。

事務局において、開票・集計し、教育長へ報告）

磯野教育長 ただいまの投票結果について報告します。

東京書籍、5票。東京書籍が過半数を得ましたので、これを採択することと決定したいと考えますが、如何でしょうか。

（「異議なし」という声あり）

磯野教育長 ご異議ないようですので、令和3年度に本市立中学校において使用する「社会（公民的分野）」の教科用図書は、「東京書籍」と決定しました。

## 【地図】

磯野教育長 次に、中学校用教科用図書「地図」に係る調査結果について、教育指導課長、説明をお願いします。

鶴岡教育指導課長 中学校地図について報告します。

社会科の目標は、以下に書かれているとおりです。

本市生徒の学力については、基礎的・基本的な知識や、資料を読み取る技能等の面が課題となっています。

従って、世界の地域構成が大観でき、正しい国土認識ができるような記載がされていること、また主題図、グラフや統計、写真等が豊富に示されていると同時に、地図を活用する際の観点や活用方法が記載されるなど、生徒自らが地図を活用し、主体的に学びに向かう工夫がなされていること、このような特色を有する教科用図書を選定する必要があるものと考えています。

観点については、ご確認ください。

次に、調査結果を具体的に説明します。

まず、「東京書籍」についてです。

新しい学習指導要領への対応（3）では、7ページから14ページにかけて、現代社会の課題を解決するために巻頭の「SDGsを知ろう」で、グローバル化に対応してSDGsや貧困、紛争などの現代的な諸課題を特集して扱っており、特に優れています。

内容（1）では、94ページの掲載資料から、「ジャンプ」マークで関連する地図や資料があるページが明示され、主体的に学ぶ力の向上をめざす本市の教育施策の実現に資する内容として、特に優れています。

続いて「帝国書院」です。

新しい学習指導要領への対応（1）では、15、16ページをはじめ計13か所に資料図の活用を促す「学習課題」が配置され、主体的・対話的で深い学びの実現には適切であると考えます。

内容（2）では、25、26ページ「アジア州の資料（2）」の鳥瞰図のように、自然環境や生活・文化、産業などのイラストを配して生徒の意欲を引き出す工夫をしながら、地域的特色を包括的に捉えられるところが特に優れています。

教科書の大きさは、東京書籍がA B判、帝国書院がA 4判、両者とも、デジタルコンテンツ利用可能です。

以上です。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等を含め何かありますか。

磯野教育長 いつも地図で申し上げるのですけれども、やはり色彩に関しては見やすいものがあるというのは、いつもながらのことですが、そして、ここに来て変わってきたのは、資料集としての使い方とかですね、約束とかかなり増えてきていますので、そのような面では、両者とも資料が充実しているのはもう承知しているのですけれども、冒頭申し上げたように、地図という観点での見やすさからすれば、私は帝国書院が優れているのかなと、意見を述べさせていただきます。

小西委員 私も地図は帝国書院が良いのではないかと考えています。地図から得られる情報というのは、単に地形だけではなくて、歴史・公民を関連づけて学ぶと、社会の知識がさらにお互いに繋



がってより深く学べるというように思っていますけれども、帝国書院の地図には、例えば鑑真がどのルートを通ったであるとか、何々の戦いはここで起きましたとか、歴史的なことも色々書いてありまして、しかも邪魔にならない形で書かれていて、地図を広げることで、地形だけではなく、歴史や公民も学べるという面でも帝国書院が良いのではないかと考えています。

和田委員 私も意見ですが、お二人の意見と重なることが多いですけれども、それ以外に、帝国書院の世界地図の部分で、日本との結びつきについてそれぞれ触れていまして、どの国が日本と、例えば、西アジアのこの国の原油の輸出先として、日本がどの程度関わっているかということが表されていたり、世界と日本との結びつきについての資料が出ているところが非常に良いと感じました。それから、色彩のよさや分かりやすさを含めて、帝国書院はページの奥の部分まで見えるよう製本されていて、地図は全部が見えないと、奥に入った部分が見えないと、そこが無いことになってしまうんですが、そこがはっきり見えるという点ですばらしいなと思います。あと31、32ページの「大陸から見た日本」という地図がとても面白くて、中国大陸から見ると日本はこのようなイメージなんだなと視点を変えて見せてくれるのが面白いなと思います。それに付随してなんですけれども、世界地図は日本では日本が真ん中なのですが、欧米に行くと日本は端っこにある地図がスタンダードなんですよ。そのような地図もあるということが地図上に載っていると良いなと思いました。余談でした。

竹田委員 私も帝国書院がいいと思います。やはり綺麗だということと、あと例えば日本列島の地図の見開き3ページ、非常に大きくて見やすいと思いました。あともう一つは充実しているのは索引の部分です。例えばウクライナとロシアで揉めているクリミア半島があるのですけれども、これは索引で調べると、帝国書院は「クリム半島」と「クリミア半島」の2つ書いてあるのですが、東京書籍では「クリム半島」でしか索引では調べられないのです。あともう一つ、例えば竹島の位置ですが、帝国書院は索引からたどることが非常に分かりやすいのですけれども、東京書籍では、索引のページからだと、どこにあるのかよくわからない。そのような意味で索引に関しては非常に充実していると思います。ただ、帝国書院が非常に残念なのは、地理との絡みで

いくと、日本のエネルギー問題が弱点ということになっていましたけれども、特に原子力発電所の地図ですね、電力会社の名前は書いてあるのですけれども、新聞とか、メディアに出る福島第二や、柏崎とか伊方原発の名前が書いてないので、これは少し残念です。印象です。

磯野教育長 ご意見、ご質問等ないようですので、これより、令和3年度に、本市立中学校において使用する「地図」の教科用図書を決定します。

それでは、採決に移ります。

中学校用教科用図書「地図」の発行者は2者、「東京書籍」及び「帝国書院」です。この2者から投票により決定します。

事務局より、投票用紙を配布してください。

(投票用紙の配布後、教育長・教育委員、投票。

事務局において、開票・集計し、教育長へ報告)

磯野教育長 ただいまの投票結果について報告します。

帝国書院、5票。帝国書院が過半数を得ましたので、これを採択することと決定したいと考えますが、如何でしょうか。

(「異議なし」という声あり)

磯野教育長 ご異議ないようですので、令和3年度に本市立中学校において使用する「地図」の教科用図書は、「帝国書院」と決定しました。

## 【数学】

磯野教育長 次に、中学校用教科用図書「数学」に係る調査結果について、教育指導課長、説明をお願いします。

鶴岡教育指導課長 数学科について報告します。

数学科の目標は、「数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す」とあります。

本市生徒の学力については、「全国学力・学習状況調査」において、全国の平均正答率をやや下回っており、学力差もやや大きいといった傾向が見られます。また、「数学が好き」と回答する生徒の割合は全国に比べてやや多いものの、「数学の授業内容がよくわかる」と回答する割合はやや少ない傾向が見られます。

従って、生徒が主体的に学習活動に取り組めるようにすること、知識・技能の確実な習得、思考力・判断力・表現力等の育成

を進めていくことが課題となっています。

数学の観点をご覧ください。内容（４）の項目について、本市生徒は、「全国学力・学習状況調査」の結果から、標準偏差が全国に比べてやや大きく、特に１６問の問題数のうち正答数が０～２問の生徒の割合が７．１％であり、全国の割合６．２％に比べて大きいことから、学力差への配慮が必要であり、「個々の生徒の理解に応じ、きめ細やかな指導ができるように配慮されているか」という視点を作成しました。

そのため、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程を遂行すること、すなわち数学的活動の充実による深い学びを実現できるような特色を有すること、個々の興味、関心、活用や習熟、つまずきへの対応等に配慮した教科用図書を選定する必要があるものと考えています。

次に、調査結果を具体的に説明します。

まず、「東京書籍」についてです。新しい学習指導要領への対応（２）では、１年６０ページに見られるように、現代的な諸課題に関する題材を取り上げ、「数学の自由研究」では教科横断的な取組みが紹介されており、幅広い視点から数学を捉え、考え、判断したことを相手に伝える力が身に付くように工夫されています。内容（４）では、１年８６ページから８８ページのように「章の問題」がＡ・Ｂの２段階で構成されており、Ａは標準問題、Ｂは応用的な問題で、さらにその中に「活用の問題」を組み込み、習熟度に応じて学習指導ができるように工夫されています。

次に「大日本図書」についてです。新しい学習指導要領への対応（１）では、一般的な適用問題だけでなく、１年２９ページ、「プラス・ワン」で発展問題を提示したり、関連して「小学校算数の振り返り」で確認したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組めるよう、工夫されています。内容（２）では、色覚特性に配慮しつつ領域ごとに主たる色彩を変えることで、「数と式」領域は緑、「関数」領域は青、のように系統性を明瞭にして、４つの領域を把握しやすくしています。

次に「学校図書」についてです。新しい学習指導要領への対応（１）では、全学年の１４ページ「QUESTION」のように、生徒が主体的に学べるように、生徒同士の会話から目標を設定しており、実際の授業でも話し合い活動を取り入れやすくなっ

ています。(2)では、1年272ページから「疑問を考えよう」などのように、教科横断的な視点や数学と社会との関わりを取り上げており、現代的な諸課題に対応できるように工夫されています。

次に「教育出版」についてです。新しい学習指導要領への対応(3)では、各学年の巻頭8ページのように、具体的な例をあげながら数学的な見方・考え方を整理しており、学習を進める際に参照できるように工夫されています。内容(4)では、2年66ページ「1次関数を学習する前に」や「もどって確認」に関連する内容の確認を促すようになっており、「学習のまとめ」では学んだ内容を振り返ることができ、個々の生徒の理解に応じた学びが進められるように工夫されています。

次に「啓林館」についてです。新しい学習指導要領への対応(1)では、2年152ページ「利用場面」のように数学的活動が充実できるように構成されています。

また、(3)では、2年75ページのように数学の見方・考え方をページの下に「虫眼鏡」として示したり、根拠を説明して共通点や差異を総合的に考えたりする場面を随所に取り入れている点が優れています。内容(1)では、自ら学ぶ力の育成のための「自分から学ぼう」編が裏表紙から構成されており、「学びのあしあと」で、自分の学習を振り返って自己評価できるようになっています。

次に「数研出版」についてです。新しい学習指導要領への対応(1)では、1年30ページなどのように、生徒たちが問題を見だし対話形式で問題解決していく過程や、学級や個々の実態に合わせて取り組むことができる別冊の教材が用意されている点が優れています。

最後に「日本文教出版」についてです。新しい学習指導要領への対応(1)では、1年58・59ページ「学び合おう」のように、「見通しをもとう、考えよう、話し合おう、ふり返ろう、深めよう」の5段階を設定し、学びを深める過程を明確にしています。

教科書の大きさは、すべてB5判、すべてデジタルコンテンツの利用可能です。

以上です。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等を含め何かありますか。

小西委員 質問になります。千葉市の大きな課題としてやはり学力格差が大きいという点がありますけれども、それに各者とも対応はしていると思うのですけれども、より対応しているような特徴などがありましたら、教えていただければと思います。

佐藤指導主事 数学が苦手な生徒や興味関心が低い生徒への対応としましては、どの者も身近な話題を取り上げて、無理なく数学的に考えられるよう工夫をしたり、キャラクターを使って吹き出しで説明をしたり、挿絵や図を効果的に使ったりして抵抗なく教科書を読み進められる工夫をしています。また、小中の接続を大切にしており、どの教科書も「算数から数学へ」「算数の確かめ」など、小学校の算数を振り返るコーナーを設けています。特に数研出版、教育出版、学校図書は巻末や領域ごとの始まりのページに、小学校で学習してきたことと中学校数学で学ぶことの系統性がわかりやすく示してあります。また、啓林館は「ふりかえり算数」として、教科書の学習する内容に関連するそれぞれのページにわかりやすい解説が載っています。小学校の内容を振り返る部分の紙面は、小学校の教科書の紙面を利用しているので、千葉市の小学生が啓林館を使っているという点では馴染みがあります。また啓林館はQRコードが大変充実しています。教科書の適切な箇所に多数掲載されています。内容も動画や操作的な内容、それから章末問題の詳しい解説もあり、家庭での学びにも大いに支援してくれるようになっていきます。

和田委員 同じく学力差についてです。そもそも中学入学の時点でかなりの学力差があって、小学校のうちから理解が進んでいない生徒が多いというように考えていますけれども、中学に入るとなかなか友達に聞いたりとか、友達同士で教えあったりということが難しいと私は思うのですが、数学でもグループワークや、ペアワークのような生徒同士で教えあったりですとか、生徒同士で学びあったりする形での学習はされていますでしょうか。

佐藤指導主事 数学の授業の中でも、グループ学習やペアワークを取り入れていることが多いです。子どもも普段は聞きにくいですが、授業の中で教え合い学習ですとか、そのようなことがあると張り切って教える側に回ったりですとか、普段聞けないことも聞きやすく、子ども同士の会話の方が理解が深まる場合もあります。

和田委員 その点で各者、話し合おうとか説明しようとか、そのような友達同士の会話を促すような、グループワークを促すような記述

も多くありますけれども、中でも取り入れやすい、というような特徴がある教科書があれば教えてください。

佐藤指導主事 各者とも数学的活動といいまして、日常の事象から問題を見つけ、友達同士で話し合っていく活動は、大変工夫して掲載しています。特に啓林館は3ステップで問題を見つけよう、解決しよう、深めていこうという流れになっているので、大変わかりやすいかと思います。それから東京書籍、学校図書も同じようにステップを設定して、考えやすく示しています。

竹田委員 この分野は、先ほど小西委員や和田委員もおっしゃっていたように、非常に個人差が出る分野だと思います。千葉市の方針としても、わかる授業ということで、個に応じた指導を充実させるということになっていると思います。指導法による部分もあるのかもしれませんが、やはり教科書が基本なので、そのわかりやすさ、高度なものから簡単なものまであるので、どこを選ぶのかなか難しいと思うのですけれども、私はその辺のバランスを考えて3つを考えました。学校図書と東京書籍と啓林館です。内容的には学校図書は中身が濃い印象がありました。他者が巻末に載せているような教材も本文中で取り扱っていることが多いので、少し難しいことも入ってくるとは思います。例えば私は医者なので興味を持ったのは、比例・反比例のつまずきやすい場所があるのですけれども、そこに視力検査のランドルト環が比例・反比例の教材として出ているのですけれども、学校図書は本文の中で使っていて、非常にわかりやすかったです。東京書籍とか啓林館は巻末の資料の1ページぐらいなので、少し物足りない感じがしました。その3社の中で選ぶとしたら、基本的なことで十分だということであれば、東京書籍。もう少し深い学習内容を考えたら学校図書。バランスを重視すればその中間の啓林館と思いました。学校図書ではその教科書について行けない生徒も出てくる可能性もありますし、数学が得意な子は東京書籍では物足りないかなと悩んだところです。バランスをとって啓林館か、思い切って学校図書かという印象を持ちました。

磯野教育長 私も意見を述べさせていただきます。去年の小学校では、生活に活かしていく中で身近な教科書としては学校図書がいいなどの思いがあった中で、今回、中学校の数学を見させていただきました。数学は、算数の時からつまずきがあって、なかなか好きになれない子がいる中で、どうステップアップしていくか

ということがあるのですけれども、ここは私も責任を感じている所なのですが、理数サポーターを配置している中でも、まだまだ不十分だということを感じながら、そうであっても先生方に頑張ってもらえばいけない状況がありますので、つまりきへの対応としては、啓林館、東京書籍、教育出版が工夫されているかなと思います。そして、やはり、そうは言っても。自分で学習の振り返りができないとどこにつまずいているのかわからないので、各章の終わりに、自己評価があって振り返りができると考えると学校図書はどうか。数学的な見方・考え方と言われる中で、深い学びにつながっていくということならば東京書籍なのかなとも思う。しかしやはり、実際に子ども達が学習していく中で、見やすい、学びやすいとなると啓林館がいいのかなということを感じて意見を述べさせていただきます。

磯野教育長 ご意見、ご質問等ないようですので、これより、令和3年度に、本市立中学校において使用する「数学」の教科用図書を決定します。

それでは、採決に移ります。

中学校用教科用図書「数学」の発行者は7者、「東京書籍」「大日本図書」「学校図書」「教育出版」「新興出版社啓林館」「数研出版」及び「日本文教出版」です。この7者から投票により決定します。

事務局より、投票用紙を配布してください。

(投票用紙の配布後、教育長・教育委員、投票。

事務局において、開票・集計し、教育長へ報告)

磯野教育長 ただいまの投票結果について報告します。

学校図書、1票、新興出版社啓林館、4票。新興出版社啓林館が過半数を得ましたので、これを採択することと決定したいと考えますが、如何でしょうか。

(「異議なし」という声あり)

磯野教育長 ご異議ないようですので、令和3年度に本市立中学校において使用する「数学」の教科用図書は、「新興出版社啓林館」と決定しました。

### 【理科】

磯野教育長 次に、中学校用教科用図書「理科」に係る調査結果について、教育指導課長、説明をお願いします。

鶴岡教育指導課長 理科について報告します。

理科の目標は「自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。」とあります。

本市生徒の学力については「各観点、領域すべてにおいて県平均をやや上回っている」といった傾向がありますが、課題として、「学習に対して見通しを持ち、課題を解決する手順や意味、留意点等を十分に理解し、観察、実験を行うこと」と「結果を分析・解釈し、科学的な根拠に基づいて考察すること」が挙げられています。

従って、「理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成できるように工夫されていること」「導入の場面において、目的意識を十分に持たせ、見通しを持って取り組めるようになってきていること」そして、「観察、実験の手順がわかりやすく表され、基本的な技能が安全に習得できる工夫がされている」教科用図書を選定する必要があるものと考えています。

観点については、ご確認ください。

次に、調査結果を説明します。

まず、「東京書籍」についてです。

新しい学習指導要領への対応（１）では、１年５８ページからの「動物の分類表の作成」に見られるように、主体的に学習に取り組めるようによく工夫されています。内容（２）では、２年５０ページからの「物が燃える変化」に見られるように目的意識や課題意識をもって観察、実験に取り組めるようによく工夫されています。

次に、「大日本図書」についてです。

新しい学習指導要領への対応（１）では、１年６４ページからの「植物の分類を活用する」に見られるように主体的に問題を見つけ課題を解決する「探究活動」が設けられており、より深い学びにつながるようによく工夫されています。内容（２）では、２年７２ページの「二酸化炭素の酸素を奪え」に見られるように見通しをもって科学的に探究する過程が学べるようによく工夫されています。造本（１）では、３年２５２ページの「日食のようす」のように、アプリを用いて教科書の図や写真をスキャンすると動画が再生できるAR技術を用いたデジタルコンテン



ツが使えるようになっており、特に優れた構成となっています。

次に、「学校図書」についてです。内容（２）では、２年３７ページからの「炭酸水素ナトリウムの分解」に見られるように観察、実験が仮説から計画を立て科学的に探究する流れになっており、優れた構成となっています。

次に、「教育出版」についてです。内容（２）では、２年１２２ページからの「栄養分と消化」の唾液のはたらきを調べる実験に見られるように、科学的に探究する力や態度の育成、科学の基本的な概念の獲得が、段階的に無理なく行えるように、よく配慮されており、優れた構成となっています。

最後に、「啓林館」についてです。新しい学習指導要領への対応（１）では、１年１４３ページからの「謎の物体Xの正体」に見られるように、各単元に１つ、探究の過程に主体的に取り組む活動を設定し、生徒の活動をサポートしている点で優れています。内容（２）では、３年２３ページの「遺伝のモデル実験」に見られるように科学的に課題を解決する手順に沿って観察・実験が示されており、学びやすいようによく工夫されています。

教科書の大きさは、東京書籍がA４スリム判、大日本図書がB５判、学校図書と啓林館がAＢ判、教育出版がAＢ変型判、全者、デジタルコンテンツ利用可能です。

以上です。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等を含め何かありますか。

小西委員 質問です。これからは１人１台タブレットを使う時代になっていくかと思うのですが、先ほど大日本図書の日食月食のご紹介があったのですが、タブレットを使った学習のしやすさという点でほかに何か特徴がありましたら教えていただければと思います。

前田指導主事 タブレットを使つての学習ということでしたが、先ほどの説明にもありましたように、大日本図書はAR技術を使って、印のあるところをタブレットでそのままスキャンすると、そのまま動画に繋がるというような形で、とてもよく配慮されています。タブレットがあり、分からないところを、例えば動画で探そうとすると、すべての会社が動画を用意して繋がるようになっていますが、目次のようなところから探すようなところもありますし、そうではなく、見たい動画にすぐ辿り着くようになっていくように配慮されている会社もあります。そのように報

告を受けています。

和田委員 新しい学習指導要領になって、これまで生物分野では、1年で植物、2年で動物というふうに分かれていたものが、今回からは、1，2年で植物と動物の両方を学習するようになったと思います。どの者も上手く組み合わせると動物も植物も、両方とも生物ですから学習できるようになっているかと思うのですが、中でも子ども達にとって理解が進みやすいような教科書があれば教えてください。

前田指導主事 新学習指導要領の中では、お話しいただいたように植物、動物というふうに、学年ごとに分けるのではなくて、動物の分類ということで、一つに大きくまとめて、生物の中で、自分たちで違いを見つけて、どのような違いがあるか、考えていこうというような形になっています。ですので、各者とも、1年生、2年生の中で工夫を凝らして学習ができるようになっています。大日本図書であれば、わかりやすく、身近な、魚の輪切りであったりとか、植物の断面を使ってヒントを与えながら、こんな違いがあるよというのを見せています。また、啓林館や東京書籍も、生物の体に色をつけて骨の標本を見せているようなところから興味を惹くような作りをしていて、子ども達が「こういう違いがあるよね」というのを調べられるような作りをしています。

磯野教育長 質問させていただきます。理科というどうしても、小学校の時もそうだったのですが、観察、実験がわかりやすいのは当然そうなんですけど、ある意味、教える側の方の課題も結構あると思います。そのような意味で観察とか実験とかを詳しく教えやすくなっている教科書会社がもしあればご紹介いただければと思います。

前田指導主事 専門調査員からは、例えば東京書籍や啓林館は1ページに、実験の方法から結果、考察の書き方をまとめ、その後のページに詳しく、この結果についてはこのような考察、というようにとても細かく、丁寧に書いてあります。大日本図書に関しては、気づきを求めているところがありますので、結果について細かく記載せずに、表現としてこのような表現がいいかどうかわからないのですけれども、大雑把な、子ども達の気づきを求めたような書き方をしています。そのような面では、千葉市の生徒に求められているような内容と重なっているというような報

告を受けています。

磯野教育長 私もそのような観点で見れば、教科の目標もあるのですが、観察、実験の基本的な技能については、授業をしていく中で、先ほども説明がありましたけれども、やはり観察、実験を通して、課題や問題を見つけるという点では、問題解決能力、主体的な問題解決という点で、きちんと示されているのは、大日本図書と教育出版が優れていると思いますので、意見として述べさせていただきます。

和田委員 もう1点質問させてもらいたいのですが、今の千葉市の生徒にとって一番理解が難しいところがどこか、ということと、それに対するアプローチとありますか、教えやすい、学びやすいということで特徴的な教科用図書があれば教えてください。

前田指導主事 専門調査員からは、学力テストなどから、電気のところでの課題が多いというような調査結果を聞いています。それは数学の計算の問題であったり、グラフから読み取れるようなところも合わせて考えなくてはいけないというようなところで、課題が多いのではないかと聞いています。その点ですと、学校図書では「つながり」というような形で、学習した内容をまとめている部分があります。計算の仕方や前の学年との繋がりを示している部分が出てきます。同じように、大日本図書では「つながる」というようなキーワードで、計算の仕方であったり、前の学年であったり、そこで学んだことを教科書の脇の方に載せてくれているので、そのような面では以前のことを思い出しながらの学習がしやすくなるのではないかと、という報告を受けています。

和田委員 最後に意見です。先ほどもご紹介ありましたけれども、手取り足取りすべてを細かく、指示と言いますか、導いてしまうと、子ども達に考えさせるという作業がなくなってしまう気がします。その辺を考えると大日本図書が考える余白があり、主体的な学習ができる仕組みになっているなと思いました。それから各所の導入の部分がとても身近な写真や事象を取り上げていて、例えば、2年生の化学変化の部分では、花火の色の違いとか身近に感じられるところから化学変化というものを紹介しているのが良いと思いました。本編と図の配置や関係についても、各者工夫されているのですが、この点を見ても大日本図書が分かりやすく優れていると思いました。

竹田委員 主に見ていたのが生物関係ですが、3年生で遺伝の分野がいっぱい出てきて、実習とか実験では5者共通でメンデルの実験が出ていますが、その中でも分かりやすいのは大日本図書と教育出版という印象を持ちました。

磯野教育長 ご意見、ご質問等ないようですので、これより、令和3年度に、本市立中学校において使用する「理科」の教科用図書を決定します。

それでは、採決に移ります。

中学校用教科用図書「理科」の発行者は5者、「東京書籍」「大日本図書」「学校図書」「教育出版」及び「新興出版社啓林館」です。この5者から投票により決定します。

事務局より、投票用紙を配布してください。

(投票用紙の配布後、教育長・教育委員、投票。事務局において、開票・集計し、教育長へ報告)

磯野教育長 ただいまの投票結果について報告します。

大日本図書、5票。大日本図書が過半数を得ましたので、これを採択することと決定したいと考えますが、如何でしょうか。

(「異議なし」という声あり)

磯野教育長 ご異議ないようですので、令和3年度に本市立中学校において使用する「理科」の教科用図書は、「大日本図書」と決定しました。

### 【音楽（一般）】

磯野教育長 次に、中学校用教科用図書「音楽（一般）」に係る調査結果について、教育指導課長、説明をお願いします。

鶴岡教育指導課長 音楽科について報告します。

音楽科の目標は、「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。」とあります。

本市では、表現及び鑑賞の幅広い音楽活動を通して、学習がバランスよく計画的に進められています。とりわけ、各中学校では学校行事である合唱コンクールが盛んに行われており、音楽学習の成果を発表していますが、生徒の歌唱力や表現力も年々向上しています。また、器楽指導においても、リコーダーやギター、箏、三味線、太鼓等の和楽器を用いて、発達段階に応じた指導を

行っています。鑑賞でも、どんな要素からそう感じるのかや、古典からポピュラーまで幅広いジャンルを扱うなど、生徒の音楽とのかかわりを豊かにする工夫がなされています。

今後も、生徒一人一人が音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成すること、また、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的な学習活動にさらに取り組めるように努めていきたいと考えます。

したがって、学習指導要領の音楽科の目標、市の教育施策に照らして、内容が適切に取り上げられているもの、生徒の発達段階や興味・関心・能力、さらには地域・学校の実態に対応したもの、といった特色を有する教科用図書を選定する必要があるものと考えています。

観点については、ご確認ください。

次に、調査結果を具体的に説明します。

まず、「教育出版」についてです。

新しい学習指導要領への対応（２）では、１年生６０ページなどにあるように、多様な音楽について考える学びができるように配慮されています。

（３）では、全学年で「学びのねらい」が明記され、学習活動での取り扱いが分かりやすく示されています。

内容（３）では、２・３年上４０ページなどにあるように、我が国の音楽を扱い、どの学年も鑑賞と表現の活動を関連付け、理解が深まるように工夫されています。

続いて「教育芸術社」についてです。

新しい学習指導要領への対応（１）では、１年生１０ページなど、どの学年も、各教材の左端の縦書きのように学習のねらいをわかりやすく示し、生徒が主体的に学べるように工夫されています。

（２）では、幅広い分野の教材を取り上げ、音楽のみならず、文化的な側面からも総合的にとらえられるように工夫されています。

内容（２）では、「深めよう！音楽」と題し、１年生１９ページなど、各教材が系統性・発展性をもって組織され、関連性をわかりやすく示すとともに、学習のつながりがスムーズになるように配列されています。

教科書の大きさは、教育出版がＡＢ変型判、教育芸術社がＡ４

変型判、両者とも、デジタルコンテンツ利用可能です。

以上です。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等を含め何かありますか。

小西委員 基本的なことで申し訳ないのですが、音楽の授業時間数がどのくらいか教えていただけますでしょうか。

仲村指導主事 1年生が45時間、2年生が35時間、3年生が35時間となっています。

小西委員 その中で、音楽一般と音楽器楽をすべて行うということでしょうか。

仲村指導主事 そうです。

小西委員 そうなると限られた授業時間数の中で、自学自習ということも大事になってくるのかなと思いますけれども、子ども達が自ら学ぶという点で、各社の特徴がありましたら教えていただければと思います。

仲村指導主事 音楽科としては音楽的な見方、考え方を働かせて主体的に学ぶ事、そして表現を工夫して総合的に学ぶことを重視しています。主体的という部分で、教育出版では、例えば1年の9ページの「ACTIVE！すすんで学び合おう」では自分の考えなどをまとめて話し合う、そして協働的な活動が展開できるように工夫されています。教育芸術社は1年19ページの「深めよう！音楽」が配置され、学習の手順が丁寧に示され、生徒も先生も無理なく学習を進めることができるようになっていきます。また、吹き出しには思考の手助けとなる言葉もあり、主体的な学びを深める手立てになっていると報告を受けています。

和田委員 現代の子ども達はいろいろな形で音楽に触れることが多いと思うのですが、その中で意識していかなくてはいけないこととして、新しい学習指導要領にも謳われていますけれども、知的財産権について、各社とも扱っていると思います。多少取り扱い方が違うと思いますが、教え方とか子どもの受け止め方により寄与するような報告があれば教えていただけますでしょうか。

仲村指導主事 知的財産権は、教育出版では2、3年上70ページで、「私たちの暮らしと音楽」として音楽著作権について扱っています。著作物と著作権でないものの区別のつけ方やインターネット配信の例を取り上げています。教育芸術社ですが、2、3年下64ページで、「ルールを守って音楽を楽しもう！」として著作権についての説明や音楽を利用することで気をつけること、音

楽が生み出される仕組みについて、漫画を交えながら説明されています。また、身近な事例を挙げ、調べたり話し合ったりする活動に繋がるように工夫されていると報告を受けています。

和田委員 続けて意見です。非常に細かいことですが、知的財産権については、なぜ重要かということとか、ダウンロード費用が何に使われているかということまで言及されていて、教育芸術社の表記がより分かりやすく、生徒に訴えかけるのかなと思いました。あと、学習のめあてが両者とも記載されていますけれども、教育出版はテクニカルなことが多く、歌う時の技術的ことが多いのですが、教育芸術社は例えば、曲想を活かして表情豊かに歌おうとか、あまり音楽に慣れ親しんでいない生徒たちにも分かりやすいように書かれているので、子供達は親しみやすいかなというふうに思いました。ただ、教育出版は音楽史に関しては系統立てて書かれていてわかりやすいという印象を持ちました。

竹田委員 歌唱については同じ曲が7曲ほど、鑑賞については8曲ほどがダブっているのですけれども、見ていてどちらかというところと教育芸術社の方が解説が丁寧な印象を持ちました。例えば「花」という曲が両方とも出てくるのですけれども、歌詞に昔の文語調で「げに一刻も」とか、あるいは「たとうべき」など、10個くらいの言葉に丁寧に注釈をつけているので歌うことへの理解につながると思っています。鑑賞でも、シューベルトの「魔王」が両方に載っているのですが、これもどこがポイントかというところが、色つきで楽譜につけてあるので、非常に鑑賞のときに助けになると思いました。そのような意味で教育芸術社の方が丁寧に作っているという印象を持ちました。あと少し医学的なことですが、男子生徒の声変わりについて、これも、教育芸術社の方が丁寧に書いてあると思います。感想です。

磯野教育長 私も意見を述べさせていただきます。音楽は、情操的に子ども達の気持ちを高めていかなければいけないというねらいが明確であって、先生とのやりとりになりますので、そのような面では、両者ともねらいが示されている点でよかったと思います。ただ、先ほど和田委員がおっしゃったように、教育出版はよく読まないとわからないところが少しあったので、確かに子ども達がねらいに沿って学習していくには、教育芸術社の方が優れているかなと思います。ただ、教育出版社も、いいところはたくさんあって、特に紙面構成はかなり良いなと思いました。

磯野教育長 ご意見、ご質問等ないようですので、これより、令和3年度に、本市立中学校において使用する「音楽（一般）」の教科用図書を決めます。

それでは、採決に移ります。

中学校用教科用図書「音楽（一般）」の発行者は2者、「教育出版」及び「教育芸術社」です。

この2者から投票により決定します。事務局より、投票用紙を配布してください。

（投票用紙の配布後、教育長・教育委員、投票。

事務局において、開票・集計し、教育長へ報告）

磯野教育長 ただいまの投票結果について報告します。

教育芸術社、5票。教育芸術社が過半数を得ましたので、これを採択することと決定したいと考えますが、如何でしょうか。

（「異議なし」という声あり）

磯野教育長 ご異議ないようですので、令和3年度に本市立中学校において使用する「音楽（一般）」の教科用図書は、「教育芸術社」と決定しました。

#### 【音楽（器楽合奏）】

磯野教育長 次に、中学校用教科用図書「音楽（器楽合奏）」に係る調査結果について、教育指導課長、説明をお願いします。

鶴岡教育指導課長 器楽について報告します。

音楽科の目標及び生徒の学力、今後の課題、求められる教科用図書の特色は、先ほどの音楽一般と同様です。

観点については、ご確認ください。

次に、調査結果を具体的に説明します。

まず、「教育出版社」についてです。新しい学習指導要領への対応（1）では、各ページの左上に見られるように、主体的な学びを実現するために、学びのねらいを明示し、見通しをもって学習できるように工夫されています。（2）では、26ページの「何が同じで。何が違う？」に見られるように、音楽文化を理解する中で、共通性と固有性を考えることで、深い学びが引き出せるように工夫されています。内容（1）では、次の27ページからの「楽器の仲間たち」に見られるように、自国と他国の文化や伝統についての理解を深めることで、道德教育との関連を図ることができます。

次に、「教育芸術社」についてです。新しい学習指導要領への



対応（１）では、１１ページの「深めよう！音楽アーティキュレーションの工夫」などに見られるように、学習の取り組み方の具体的な手順と、話し合いのヒントを明示することで、対話的に学習できるよう配慮されています。内容（３）では、４６ページからの唱歌に見られるように、和楽器の唱歌を取り入れることにより、実感を伴った深い学びにつなげています。

教科書の大きさは、先ほどの音楽一般と同様です。

以上です。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等を含め何かありますか。

磯野教育長 先ほどですね、一般でも言ったのですけども、内容が類似してきて、難しいというのが正直なところですね。それで、先ほどあったように、ねらいやめあてがきちんと書かれているのが教育出版と示されたわけですけれども、教育芸術社も書かれている内容は同じなので、あとは工夫の問題だと思います。そして、これまでも教育出版は、リコーダーについて工夫して詳しく書かれてきたわけですけれども、ここも教育芸術社も工夫されてきている。するとあとは何が違うかな、と置いていくと、実物の芸術家のコメントが入っているか入っていないかというようなところが会社によって違うと。そういうようなところを見ていくと、実際に器楽がどのくらい授業で使われて、どのような役割を果たしていくのかというところを教えていただければと思います。

仲村指導主事 器楽の時間数ですが、千葉市として１年生は１０時間、２年生は８時間、３年生は５時間の時間をとっています。やはりこの器楽では、楽器の奏法が詳しく記述されている教科書が、子ども達も使いやすいのではないかと考えています。その点で教育出版は、巻末に見開きのリコーダーの運指表とギター及びキーボードのコード表が綴じ込まれており、子ども達が曲中に不安になり、指を確認したいとなった時に大変見やすく、両方を一遍に見ることができるという工夫がされているとの報告を受けています。

和田委員 リコーダーの運指について、関連して質問させてもらいたいのですが、本文の方にも運指表がそれぞれの曲のところの左の隅の方に載っているのですが、見ていくと、色分けですとか少し違うのですが、どちらの方が見やすいのでしょうか？

仲村指導主事 リコーダーの運指の方は、色というよりは、小学校の時から運

指表はこのような状況になっているので、そのあたりでは、色分けではどちらがと言うのは少し難しい部分があります。ただ、リコーダーでいうと、アルトリコーダーを千葉市のすべての学校で購入しているわけではなく、ソプラノリコーダーを使っている学校も数校あります。その点で教育出版は、12ページに、ソプラノリコーダーでの演奏の仕方等も記載されているといった工夫がされています。また、教育芸術社は同じ曲をソプラノリコーダー、アルトリコーダー、両方で記載しているというような工夫をしているとの報告は受けています。

和田委員 一般の方では、曲のめあては教育出版はテクニカルでどうなのか、という発言をしたのですけれども、器楽ではまず技術的なところを得られないと、楽器を演奏することができないので、そのような意味で、教育出版の方が技術的なこともめあてとして書かれているのが、器楽に関しては良いのかなと思います。

千葉委員 意見ですけれども、僕自身も体験してきて、音楽器楽の時間が少なくても、このような見開きのものがあれば、興味を持っていれば、空いている時間についついやれてしまうし、調べてできるかなと思うと、このような風に、見開きで見やすい方がいいかなと思います。

竹田委員 教えて欲しいのですけれども、器楽合奏の教科書を採択する上で、その前の音楽一般の教科書との繋がりがかなり重要な要素になりますか。つまり、同じ出版社にしないと学習に支障をきたす可能性がありますか。

仲村指導主事 同じ教科書会社ではなくても、例えば「荒城の月」など共通教材として取り上げられている教材が掲載されているので、問題は生じているわけではないですし、また小中連携ということを考えると、小学校での歌唱、鑑賞教材が、この中学校の器楽の教材に多く使われているので、そのような面では親しみやすいものになっていますので、教科書会社が一緒、違うという部分よりも、色々な曲が載っている、楽器の奏法が詳しく記述されている教科書が望ましいのではないかと報告を受けています。

小西委員 質問ですけれども、基本的にはリコーダーの練習になるのかと思うのですが、千葉市の子ども達が和楽器に実際に触れるという機会は、どの程度あるのかということをお教えいただけますか。

仲村指導主事 千葉市では、箏、三味線、和太鼓等を実際学校で演奏していま

す。ただ、学校で楽器の台数が足りないというときは、音楽教育センターにたくさんありますので、そちらから借りて、という形で、楽器の学習を取り上げています。

小西委員 ありがとうございます。今おっしゃった、箏、三味線、和太鼓の奏法ですね、使い方については、両者何か特徴があるのか、教えていただきたいです。

仲村指導主事 両者とも教科書の方に大変丁寧に載っているというところでは、同じかなと思うのですが、教育出版の学習コンテンツに、ギターとか琴とか三味線の基本的な奏法のガイドとしてリンクがあり、実際そのような映像を見ながら学ぶというところで、工夫されているというように聞いています。

磯野教育長 ご意見、ご質問等ないようですので、これより、令和3年度に、本市立中学校において使用する「音楽（器楽合奏）」の教科用図書を決定します。

それでは、採決に移ります。

中学校用教科用図書「音楽（器楽合奏）」の発行者は2者、「教育出版」及び「教育芸術社」です。

この2者から投票により決定します。事務局より、投票用紙を配布してください。

（投票用紙の配布後、教育長・教育委員、投票。

事務局において、開票・集計し、教育長へ報告）

磯野教育長 ただいまの投票結果について報告します。

教育出版、5票。教育出版が過半数を得ましたので、これを採択することと決定したいと考えますが、如何でしょうか。

（「異議なし」という声あり）

磯野教育長 ご異議ないようですので、令和3年度に本市立中学校において使用する「音楽（器楽合奏）」の教科用図書は、「教育出版」と決定しました。

## 【美術】

磯野教育長 中学校用教科用図書「美術」に係る調査結果について、教育指導課長、説明をお願いします。

鶴岡教育指導課長 美術科について報告します。

美術科の目標は、「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す」とあります。

本市生徒の学力については創造的な技能は優れていますが、

作品への主体的な関わりが不十分であるといった傾向があり、主題を明確にし、自ら発想や構想を深めることや根拠をもって主体的に作品を味わったり、価値意識をもって批評したりすることが課題となっています。

従って、自己を見つめたり、自然や社会との関わりに視点を当てたりと、主題が明確になる表現活動や鑑賞活動が充実できる内容であり、美術における基礎的・基本的な指導事項がわかりやすく載せられているといった特色を有する教科用図書を選定する必要があるものと考えています。

では、調査結果を具体的に説明します。

最初に、開隆堂についてです。新しい学習指導要領への対応(1)では、美術1の6・7ページをご覧ください。「学びの地図」にみられるように、生徒の興味関心を高め、見通しをもって表現及び鑑賞の活動ができるように工夫されています。内容(1)では、美術1の63ページにみられるように、色を区別することの苦手な生徒にもわかりやすいように黄色を例として彩度を表したカラーユニバーサルデザインが採用されています。美術1、美術2・3のすべてにおいて、学習の目標など重要な事柄がページの同じ位置に配置されており、インクルーシブ教育を意識した紙面構成である点が優れています。

次に、光村図書についてです。新しい学習指導要領への対応(1)では、美術1の「美術って何だろう」「美術で学ぶこと」にみられるように、図画工作から美術へのつながりを示すとともに、発想・構想を深める手立てを掲載するなどの工夫が見られます。内容(1)では、美術2・3の6ページから9ページなどにみられるように、一つの題材を4ページで扱い、多様な生徒作品を掲載するとともに、表現方法のヒントや「みんなの工夫」、「作者のことば」などの、発想・構想を深める手立てが掲載されています。

最後に、日本文教出版についてです。新しい学習指導要領への対応(1)では、美術1の6・7ページ「中学校美術の世界へようこそ 3年間の成長地図」にみられるように生徒の興味・関心を高め、小学校の図画工作から引き続き見通しをもって表現及び鑑賞の活動に取り組めるように工夫されています。内容(4)では、美術1の38・39ページなどに見られるように、生活や社会との結びつきを実感させるような題材が示され、自分と他

者との関係や自然、環境、社会に目を向けた内容構成が特に優れています。造本（2）では、3分冊なのが特徴です。また、美術2・3下の48・49ページの土器に見られるように、見開きページや折込みページの原寸大図版を使うことによって、作品のイメージをとらえやすくしています。

教科書の大きさは、開隆堂と日本文教がA4ワイド判、光村図書がA4判、日本文教のみ、2・3年が2冊の造本となっています。3者とも、デジタルコンテンツ利用可能です。

以上です。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等を含め何かありますか。

和田委員 芸術的な科目というのは、実際の技量に関して得意不得意がととても分かれるところだと思うのですが、鑑賞するという点に関しては、得意不得意というのは関係なく、また生涯を通じて人生の楽しみとして持てるものだと思います。鑑賞に関して、各者とても素晴らしい資料ですとか、絵画そのものが原寸大で現れていたり、また生徒作品が多く載っていたりします。鑑賞したときに、自分の言葉で説明をしたり、主体的に作品を味わったりということが、千葉市の子供達の問題というように書かれていますが、主体的に鑑賞させたり、批判しあったりということが行いやすいという観点から見て、各者特徴があれば教えていただけますでしょうか。

中村指導主事 どの教科書も原寸大或いは見開き或いは開いた状態で大きくなるページがあります。この、原寸大や大きな作品を見ることで受ける印象がととても強くなり、そこから色々な発想も出てきますし、本物を見るのが一番素晴らしいことなのですが、教科書の中でも、手元で原寸で見ることができる、また美しい色で見ることができるというところを大事にしたいと考えています。光村図書の2・3年の26ページに、北斎の神奈川沖浪裏があります。このように原寸のものが同じように、ほかの教科書でも取り上げていまして、日本文教出版の2・3年の上にも同じように、北斎の作品が原寸大で出ています。また、開隆堂出版が1年の25ページから28ページに伊藤若冲の世界ということで、見開きの作品が掲載されています。このように、各教科書会社で、素晴らしい作品が掲載されているという報告を受けています。

和田委員 各者素晴らしく、見入ってしまうのですが、日本文教出版の1

年生の教科書で、尾形光琳の燕子花図が実際に屏風のように折って試しに陰影なども見ることができるというのは、とても面白い発想だなと感じました。美術館の楽しみ方について、身近にある、地域にある美術作品や建造物など、各者とも触れています。授業の中で、千葉市にも千葉市美術館がありますが、地域の美術館の利用とか、関わりとか、どのように展開されていますでしょうか。

中村指導主事 千葉市美術館において、千葉市美術館を見学するためのパッケージを作っている行事があります。これは貸切のバスにより、児童生徒を美術館に連れて1、2時間ほど滞在する「ギャラリークルーズ」を行ってくれます。これは手を挙げた学校だけが行える内容となっていますが、本物を見られるということもいいことであるとの報告を受けています。

千葉委員 どの教科書もすばらしいですけれども、子どもが生まれて、両親が歩き方を教えるように、この小学校中学校ぐらいの柔らかい頭のところに、この絵をどう見たら、どのように見たら素晴らしいというような、説明や解釈、注釈が長けているようなものがあったら教えていただけますか

中村指導主事 どの教科書にも、鑑賞の題材のところにもいろいろな造形的な視点ですとか、学習のポイントといったものが出ています。また作者の言葉ということで、現在活躍されている方の作品が出ている教科書もあります。例えば、開隆堂出版ですと、1年生の9ページに、草間彌生さんが載っていたり、日本文教出版で見ますと、1年の42ページの駅名ですけれども、これは千葉県作家のものです。

小西委員 意見ですけれども、千葉市の子供達達の課題の「主体的に作品を味わう」と聞いています。主体性を上げるためには様々なアプローチがあるとは思いますが、やはり美術に関して子供達達の関心を引くためには、すごいなあとか、こんな発想があるのか、という、驚き、感動が一番大切だと思っています。そのような意味で、面白くて刺激的な写真が多く掲載されているのが、日本文教出版と開隆堂かと思いました。特に日本文教出版の燕子花図とか神奈川沖浪裏の写真は、発色であったり、文字の明確さであったり、写真の精度が非常に高いなと感動しました。その点も含め日本文教出版が良いと思っています。

磯野教育長 ご意見、ご質問等ないようですので、これより、令和3年度に、

本市立中学校において使用する「美術」の教科用図書を決定します。

それでは、採決に移ります。

中学校用教科用図書「美術」の発行者は3者、「開隆堂」「光村図書」及び「日本文教出版」です。

この3者から投票により決定します。事務局より、投票用紙を配布してください。

(投票用紙の配布後、教育長・教育委員、投票。

事務局において、開票・集計し、教育長へ報告)

磯野教育長 ただいまの投票結果について報告します。

日本文教出版、5票。日本文教出版が過半数を得ましたので、これを採択することと決定したいと考えますが、如何でしょうか。

(「異議なし」という声あり)

磯野教育長 ご異議ないようですので、令和3年度に本市立中学校において使用する「美術」の教科用図書は、「日本文教出版」と決定しました。

#### 【保健体育】

磯野教育長 次に、中学校用教科用図書「保健体育」に係る調査結果について、教育指導課長、説明をお願いします。

鶴岡教育指導課長 保健体育科について報告します。

保健体育科の目標は「体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す」とあります。本市生徒の体力・健康安全面について、体力は全国的な調査結果と比較して一部項目では全国平均を上回っているものの、年次推移では下降傾向があり、運動に主体的に取り組む姿勢や、健康で安全な規則正しい生活習慣の意識化を図るとともに、知識を習得させ、日常生活での実践につなげていくことが課題となっています。従って、「学習のねらいが明確に示され、生徒の主体的な学びや、日常生活への実践を促すように編集・構成されていること」といった特色を有する教科用図書を選定する必要があるものと考えています。

観点については、ご確認ください。

次に、調査結果を具体的に説明します。

まず、「東京書籍」についてです。新しい学習指導要領への対応（１）では、口絵 9 の「学習の流れ」に見られるように、各単元が「主体的・対話的で深い学び」となるように「見つける」、「学習課題」「課題の解決」「広げる」の 4 つのステップからなる、優れた構成となっています。また、10 ページ、11 ページにあるよう、興味関心が高まる導入や他教科との関連も一目でわかるように工夫されています。また、「性の多様性」、「感染症」についてなど、多くの今日的な課題も取り上げられており、豊富な資料や 50 のデジタルコンテンツも用意されています。内容（３）では、75 ページなどにあるように、地域の人と協力して活動する場面が多く掲載されており、地域とのつながりを考えさせる構成となっています。

次に、「大日本図書」についてです。新しい学習指導要領への対応（２）では、保健分野と体育分野や他教科との連携を横断的に扱えるような工夫がされています。また、25 ページにあるように、毎時間話し合ったり書き出したりする様々な課題解決学習が設定されており、言語能力、問題発見・問題解決の育成を図ることができるように工夫された構成になっています。内容（２）では、全体が本文を左側、資料を右側に配置し、本文と資料を分けることで、見るべき内容に集中しやすいよう工夫されています。

次に「大修館書店」についてです。新しい学習指導要領への対応（３）では、「章のまとめ」において、知識・技能の確認、思考・判断・表現の問題とそれぞれ観点が示されており、何について学んだか、理解できたか等、観点別に自己評価できるよう構成されています。内容（３）では、4 ページ、5 ページにあるように、各章の扉では、「学習を始める前に」や中学生が活動する資料を掲載し興味関心を高める工夫や、この章で学習する内容が、地域や社会の中でどう関連しているのかを、写真を多く掲載し体系的にわかる工夫がされています。

最後に、「学研教育みらい」についてです。新しい学習指導要領への対応（１）では、「主体的・対話的で深い学びとなるように、各章では学習項目が「課題をつかむ」「本文」「考える・調べる」「まとめる・深める」という 4 つのステップからなる優れた構成になっています。また、21 ページにあるように、毎時間、言語活動を取り入れた学習活動が充実できるように工夫さ



れています。内容（２）では、１８８ページ、１８９ページなどにあるように、章のまとめでは、学習内容の振り返りにおいて、観点別に自己評価しやすく、各学年の終わりには、進級後や卒業後の健康で安全な生活へ結び付ける工夫がされています。

教科書の大きさは、東京書籍がＡＢ判で、他者はＡＢワイド判、デジタルコンテンツ利用可能です。

以上です。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等を含め何かありますか。

竹田委員 主に保健の部分について、各者比べてみたのですが、千葉市で力を入れている禁煙関係、たばこについて、特に胎児への影響について書いてあるのは学研と大日本図書の２者でした。それから、電子たばこの規制にまで踏み込んで書いてあるのは学研だけで、内容的には深いと思いました。あと感染症に関して、当然現在の新型コロナに関しては何も書いてないのですが、新型インフルエンザやＳＡＲＳとか、そのようないわゆる新興感染症ですね、新型コロナもこれに入りますが、これに触れているのは学研と大修館だけでした。特に学研の場合びっくりしたのは、パンデミックになったときに、その際の患者や家族への偏見や差別のことまで踏み込んで書いてあるので、非常に感心しました。あと医学的なことでは、傷の手当、止血法、このようなものでは、大修館と学研は非常に文章が具体的で理解しやすかったです。またイラストから非常にイメージしやすかったと思います。以上意見です。

和田委員 これまでは３年生でしか扱われていなかった健康な生活と疾病と予防が、新学習指導要領では１年生から３年生のそれぞれで学習するようになったと思います。特にストレスに関しては１年生のところで学ぶようになっています。各者ストレスに関していろいろな記述となっているのですが、中学１年生にとって、どういうふうに解釈するのが良いのか、千葉市としての課題も含めて各者の特徴など教えていただければと思います。

平川指導主事 おっしゃる通り、心の健康についての学習に関しては、保健の授業でのみ、ストレスの対処方法やリラクゼーションの実習などを直接的に取り扱うことができる内容となっています。これに関して、東京書籍では、教科書でいうと３６ページの「欲求と心の健康」から３８ページの「ストレスによる健康への影響」、それから、４０ページの「ストレスへの対処の方法」という形

で、3時間の扱いと丁寧な対応になっています。またストレスの対処の方法で、自分の状況をチェックしたり、ストレス対処とコミュニケーションの方では困ったときにどう相談したらよいかということ等が示されていて、自分のことを振り返りながら考える内容となっていると報告を受けています。また、学研では、60ページ、「欲求不満やストレスの対処」ということで、6ページにわたって取り上げています。欲求不満やストレスへの対処の仕方の例を示してから、そのあとの66ページの「探求しようよ！」という発展学習で、ストレスチェックやコミュニケーションについて掲載されているというふうに報告されています。

和田委員 私もストレスのところを比べて見まして、東京書籍はストレスが必ずしもマイナスではなくて、発達のために必要だというふうに紙面を割いていて、それについてみんなで話し合う場面も持っているので、とても大事なことだと思いました。ストレスは悪いものだと考えてしまいがちですが、そうではなく、うまく付き合っ乗り越えることによって、成長していくということを強調しており、東京書籍の記述は素晴らしいなと思いました。ただ、先ほど竹田委員からもありましたように、ほかの分野でとなると、学研で感染症について素晴らしい記述があるというお話もありました。部分的なところだけを取ってしまうと、どこというように決めるのはいけないことかと思いません。そこで全体として、単元ごとの学習課題がはっきりしていて、合計の授業が、3年間で48時間ありますので、1話完結のような形で課題を掴んで、それを子ども達に伝えて、最終的に自分の身に付けられるということを考えると、やはり課題の提示の仕方から学研と東京書籍で迷っています。

小西委員 私も和田委員と同じで、学研と東京書籍で非常に悩んでいます。やはり子供の自殺者数が年々増えているとか、不登校の数が増えていっているという中で、心やストレスの問題のところを少し重点的に見ていくと、学研の方が多少ではあるのですが、日常生活の中でよくぶつかりがちな場面をイラストを交えながら、わかりやすく紹介しているなという印象を持ちました。あとは、導入から振り返りまで全体的に、多少ではありますけれども、学研の方がより具体的な事例を出して生徒たちに考えさせているような印象を持ちました。その意味で、生徒

にとって入りやすく、また、千葉市は若い先生方が多いので、若い先生方が教科書を使ってそのまま教えやすいだろうという印象を持っています。どちらかを選びたいと思います。

磯野教育長 私も意見を述べさせていただきます。昨年、小学校の教科書を決める時には、千葉市が取り組んでいる受動喫煙も含めた中での対応について、ある程度絞り込んで意見交換をした記憶があります。現在は薬物乱用とストレス社会になっていますので、この辺がどうなっているのかということ、先ほど竹田委員がおっしゃったように、それ以外にも感染症の問題など、様々なものがあります。これらをバランスよく書かれているということが大事な中で、私も東京書籍と学研が詳しく書かれているなどと思います。特に心を育てる、心の健康に関しては、私は個人的には、学研の方わかりやすいかなという思いがあります。

磯野教育長 ご意見、ご質問等ないようですので、これより、令和3年度に、本市立中学校において使用する「保健体育」の教科用図書を決定します。

それでは、採決に移ります。

中学校用教科用図書「保健体育」の発行者は4者、「東京書籍」「大日本図書」「大修館書店」及び「学研教育みらい」です。

この4者から投票により決定します。事務局より、投票用紙を配布してください。

(投票用紙の配布後、教育長・教育委員、投票。

事務局において、開票・集計し、教育長へ報告)

磯野教育長 ただいまの投票結果について報告します。

東京書籍、1票、学研教育みらい、4票。学研教育みらいが過半数を得ましたので、これを採択することと決定したいと考えますが、如何でしょうか。

(「異議なし」という声あり)

磯野教育長 ご異議ないようですので、令和3年度に本市立中学校において使用する「保健体育」の教科用図書は、「学研教育みらい」と決定しました。

#### 【技術・家庭（技術分野）】

磯野教育長 次に、中学校用教科用図書「技術・家庭（技術分野）」に係る調査結果について、教育指導課長、説明をお願いします。

鶴岡教育指導課長 技術・家庭科（技術分野）について報告します。

技術分野の目標は、「技術の見方・考え方を働かせ、ものづく

りなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを目指す。」とあります。本市生徒の学力については、意識調査と学力の関係において、「勉強は大切、役に立つ」といった学習の有用感が低いといった傾向があり、日常の事象と結びつけた学習の改善が課題となっています。したがって、本教科では生活に生かす、生活に結びつけるといった特色を有する教科用図書を選定する必要があるものと考えています。

観点については、ご確認ください。

次に、調査結果を具体的に説明します。

まず、「東京書籍」についてです。新しい学習指導要領への対応（3）では、実践的、体験的な学習を通して、問題解決に向けて主体的に取り組もうとする力が育まれるよう配慮され、また、11ページのように「技術の見方・考え方」を働かせる工夫がなされています。内容（4）では、各内容ともに、基礎的・基本的な知識及び技術が身に付くよう適切に取り上げられています。

次に「教育図書」についてです。新しい学習指導要領への対応（3）では、各内容とも「学ぼう」「じっくり学ぼう」「学びを深めて生かそう」などを数多く掲載し、思考や体験をしながら、問題解決的な学習ができるようによく工夫されています。内容（1）では、21ページに見られるように、将来を主体的に考えられるような頁が設定され、進路に意識が深まる工夫がされています。

次に、「開隆堂出版」についてです。新しい学習指導要領への対応（2）では、学習のまとまりごとに「ふり返り」が設定され、文章によって表現できるよう構成されています。また、小学校のつながりはもちろん、リンクマークが随所に付してあり、他の内容や他教科との関連について学習のつながりをわかりやすく示すなど、よく配慮されています。

内容（1）では、173ページに見られるように、新たな技術や探究的な内容、開発者の話などが掲載されており、将来に希望を持ちながら、職業観・勤労観を育むことができるよう、よく工夫されています。（2）では、44・45ページに見られるように、どの内容でも問題解決の手順が示されていて、問題解決的な学習に取り組みやすく工夫されており、各内容の系統性も極めて適切であります。

教科書の大きさは、すべてA B判、デジタルコンテンツ利用可能です。

以上です。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等を含め何かありますか。

磯野教育長 では私から意見を述べさせていただきます。今回、3者とも素晴らしい構成になっているわけですがけれども、やはり学習の見通しとか、見やすさとか写真については、開隆堂が本当に優れているなという印象を持ちました。そしてそれぞれの教科への繋がりとか、小学校との繋がりとかを、意識した中での学びが系統的になっているという点で、この教科書は使いやすいという意見を述べさせていただきます。以上です。

和田委員 1点質問なのですがけれども、技術の科目ではノートはどのように使うのか、若しくは使わないのか、教科書に書き込めるような箇所も随所にありますけれども、その点教えていただけますでしょうか。

青木指導主事 ノートの扱いですが、各学校異なっていて、教員がワークシートを用意したり、市販のワークを買って取り組んでいる学校もあると聞いています。

和田委員 各項目に振り返りの場面がどの教科書にもあると思いますが、興味のある生徒と全然興味のない生徒とが顕著に現れる教科だと思いたいますが、振り返りのしやすい教科書の特徴があれば教えてください。

青木指導主事 各者ともに振り返りやまとめについて記載があります。学習の見通しという意味で、振り返りが必要になるかと聞いていますが、東京書籍は始まりのページでガイダンスとして、問題解決のプロセスを触れています。教育図書は「つくって学ぼう、じっくり学ぼう、学びを深め生かそう」という構成で、段階的に取り組めるようにしていると聞いています。開隆堂については、導入、基礎学習、展開、まとめ、評価と構成がわかりやすいと聞いていて、この際に話し合い活動等の場面が設定されているというように聞いています。

和田委員 振り返りの部分の構成についてはどうでしょうか。例えば、開隆堂だとA B Cで自分で丸をつけるような、それぞれ工夫があると思いますが。

青木指導主事 開隆堂の93ページをご覧ください。こちらは学びを深めようというページで、学習のまとめと記載があり、下のコラムを

用いながら、ただ、考えをまとめるだけではなく、材料と加工の技術について触れながら考えをまとめることができるという観点で、充実していると聞いています。

磯野教育長 質問ですけれども、千葉市は今現在、小中学校含めて重点的にキャリア教育をやっているわけですが、職業観や勤労観という点で記述が優れているような教科書会社があったら教えてください。

青木指導主事 各者ともにキャリア教育に関して取り上げて、工夫されていると聞いています。東京書籍は81ページのように「技術の匠」等で伝統工芸に携わる方のメッセージを紹介していると聞いています。教育図書については、21ページのように、技術者や技術を紹介するなど、進路に意識が深まるような工夫がされています。開隆堂については247ページをご覧ください。こちらのように、技術に関する進路や職業、開発者の話も多く取り入れ、将来に希望を持ちながら、職業観、勤労観を育むことができるよう、よく工夫されていると報告を受けています。

小西委員 意見ですけれども、先ほど教育長がおっしゃった点を踏まえて私も開隆堂が良いかと思っています。さらに追加の意見ですが、開隆堂のA B C Dの各導入の部分の写真と歴史の記載が非常に興味深かったです。ページを開くと、それぞれのテーマごとに、現代の最先端の技術がどのような場面でどう役立っているのかというのが一目でわかりますし、歴史を見ると、人間の技術の進歩のすごさというのがよく分かるなと思いました。また、技術の教科はまさに実生活に活かしていかないと意味がないと思いますので、振り返りの部分で、子ども達が生活にどう生かすかという観点から自己評価をつける形になっている点も良いと思いました。

磯野教育長 ご意見、ご質問等ないようですので、これより、令和3年度に、本市立中学校において使用する「技術・家庭（技術分野）」の教科用図書を決定します。

それでは、採決に移ります。

中学校用教科用図書「技術・家庭（技術分野）」の発行者は3者、「東京書籍」「教育図書」及び「開隆堂出版」です。

この3者から投票により決定します。事務局より、投票用紙を配布してください。

（投票用紙の配布後、教育長・教育委員、投票。）

事務局において、開票・集計し、教育長へ報告)

磯野教育長 ただいまの投票結果について報告します。

開隆堂出版、5票。開隆堂出版が過半数を得ましたので、これを採択することと決定したいと考えますが、如何でしょうか。

(「異議なし」という声あり)

磯野教育長 ご異議ないようですので、令和3年度に本市立中学校において使用する「技術・家庭(技術分野)」の教科用図書は、「開隆堂出版」と決定しました。

#### 【技術・家庭(家庭分野)】

磯野教育長 次に、中学校用教科用図書「技術・家庭(家庭分野)」に係る調査結果について、教育指導課長、説明をお願いします。

鶴岡教育指導課長 技術・家庭科(家庭分野)について報告します。

家庭分野の目標は「生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。」とあります。本市生徒の学力については、平成30年度千葉市学力調査の結果から、既習の学習を使って学習を進めることは概ねできていますが、自分の考えや感想をノートに書くことや問題についてよく考え、わかるまで頑張ることについては、学年が上がるにつれて、低下しているという傾向があります。総合展の作品状況においても、授業内の発展的作品や創意工夫を凝らした力作は多く見られますが、自分の生活から問題を見つけ、課題を設定し、調べたり製作したりした作品は少なく、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度の育成が課題となっています。従って、生活の自立に必要な知識及び技能の習得と、思考力、判断力、表現力の育成が図れる構成になっていること、生活の中から問題を見出し、解決方法を検討、計画、実践するなどの学習過程を重視している教科用図書を選定する必要があるものと考えています。

観点については、ご確認ください。

次に、調査結果を具体的に説明します。

まず、「東京書籍」についてです。新しい学習指導要領への対応(1)では、271ページの「思考ツール」は、考えていることを可視化し、情報や意見を整理し、自分の考えを深めることができ、「主体的・対話的で深い学び」となる、優れた構成となっています。(2)では、「いつも確かめよう」において、実習

や生活の中で必要な基礎的な技能をまとめ、技能の定着を図りやすくしています。デジタルコンテンツも充実しており、基礎技能を用いてできる実習例や難易度の低い実習例も取り上げ工夫されています。

各章のまとめの「生活に生かそう」では、学習したことを生活に生かし、268・269ページの「生活の課題と実践」で、問題解決のプロセスに沿って実践できるように、工夫されています。

次に、「教育図書」についてです。新しい学習指導要領への対応(1)では、26・27ページに示すように「見つめる・学ぶ・振り返る」の3ステップで常に展開されています。この3ステップの流れをくり返すことで、見方・考え方が次第に養われるよう配慮されています。「話し合ってみよう」や「調べてみよう」など、実践的・体験的な活動を通して学ぶことができるワークが多数掲載されており、主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されています。

最後に、「開隆堂」についてです。新しい学習指導要領への対応(1)では、8・9ページのガイダンスで、「主体的・対話的で深い学び」方について、わかりやすく説明され、学び方や進め方を同一プロセスで実践できるように配慮されています。「話し合ってみよう」の話し合い活動、「やってみよう」の実践的な活動、「考えてみよう」の思考する活動など実践的・体験的なアクティブラーニングを多数掲載し、生徒同士や家族・身近な人たちと会話などを通して考えを明確に、考えを広げて深められるような仕組みで、よく工夫がされています。

内容(4)では、64・65ページの「持続可能な家庭生活をめざして」において、社会に目を向け、現代社会の課題に対して、各学習内容との関連が意識できるよう、持続可能な社会の構築を各内容、共通に貫く視点と捉える構成となっています。

教科書の大きさは、東京書籍と開隆堂がA B判、教育図書がA B変型判、3者ともデジタルコンテンツ利用可能です。

以上です。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等を含め何かありますか。

和田委員 家庭分野の目標として、より良い生活の実現ということが大きな目標となると思います。実際に家庭科の授業を受けて、家庭科の教科が自分たちの将来のより良い生活の実現のためにあ



るんだなというふうに子ども達が結び付けて考えられるか、というところがあると思うのですが、各社の教科用図書の中で、学んでいくことが君たちの将来のより良い生活の実現に繋がっていると実感できるような特徴的なことがあれば、教えていただきたいと思います。漠然としたことで申し訳ないのですが。

豊川主任指導主事 ただいまのご質問は、先ほど技術科でもご質問のあったキャリア教育にも通ずるところだと考えます。様々な職種で働いている人へのインタビューや、地域社会で活躍している方からのメッセージなどが、どの教科書会社も各所に盛り込まれていまして、勤労観を育みながら、今学んでいることが、将来の自分の生活や社会に繋がっているんだっていうことを感じられるような工夫がされていると報告を受けています。例えば東京書籍ですと「プロに聞く」ということで、巻末の282ページのところに、そのような方たちの一覧がありますが、本文の中でも、具体的にメッセージが盛り込まれています。また、教育図書では、「センパイに聞こう！」というのがありますが、例えば69ページにあるような、人生の先輩から色々なことを学び、自分の将来を考える糧にする。また、開隆堂では、「先輩からのエール」ということで、例えば204ページにあるように、ここは項目立てが幾つかありまして、仕事を始めたきっかけや中学生に伝えたいことなど、中学生で学んでいることがどのように自分の将来に繋がるかもしれないということで、考えるきっかけを作っていると報告を受けています。

小西委員 2点質問ですけれども、まず1点目が、この教科書の教える順番ですが、最初から順番に教えていくのか、学校の先生によって違うのか、それを教えていただきたいと思います。2点目が、家庭科の調理実習があると思うのですが、その際に子ども達は教科書を調理の場に置いて行うのか、それとも調理のときには子ども達は教科書を見ないのか、教えていただければと思います。

豊川主任指導主事 まず指導順序についてですが、各学校の教科担当が年間指導計画3年間分を立てて、この内容を適所に織り込む、つまり学校の実態や生徒の実態に応じて教えますので、必ずしも教科書の順番通りではありません。それから2点目の調理実習の時に教科書を活用するかどうかということですが、計画を立てる段階では教科書を活用して計画を立てますが、実際に調理をする

場では教科書は見ません。自分が立てた調理計画の計画表をもとに実習を行います。

和田委員 今のことに関連して意見ですけれども、調理実習は子ども達がとても楽しみにしていると思うのですが、開隆堂の調理実習の写真が料理であったり、できあがった写真を含めて、大変美しく、調理の過程の写真がすべて真上から撮られているのですね。ボールとかお鍋とかフライパンなどの調理器具の中が分かりやすく、どのような状態かも分かりやすく子ども達も理解が進みやすいと思いました。意見です。あと、先ほどの、より良い生活ということと関連するかもしれないのですが、消費者教育も中学生に対して必要であると思います。各者工夫して具体的な例なども挙げながら説明をしていますけれども、教えやすい、学びやすいという報告があれば教えていただけますでしょうか。消費者教育に対することです。

豊川主任指導主事 消費者教育については、成年年齢が18歳に引き下げられることや、キャッシュレス化が進んでいることも含めまして、中学校では、消費生活の仕組みや売買契約、消費者の権利について、課題をもって活動できるよう工夫した構成がそれぞれされていると聞いています。例えば東京書籍ですと、201ページ「消費者の権利と責任」という部分を漫画でわかりやすく示してあります。そのようなものは子ども達の興味関心を惹きつけやすいので、主体的に学びやすいと報告を受けています。また、教育図書ですと257ページに「若者の消費者トラブル」ということで、割と紙面を割いていますので、ここから自分自身を振り返って課題を見つけるというきっかけにもなると聞いています。さらに開隆堂ですと、248ページ、先ほどは「若者の」ということで取扱いがありましたが、こちらは「中学生の消費者被害」ということで、実際に中学生、自分自身が自立した消費者として、消費者市民社会の中で取り組めるように示されていて扱いやすいと報告を受けています。

小西委員 意見です。調理実習にしても布製作にしても、開隆堂と東京書籍の実習例が非常に見やすいなと感じました。その2者で、最初に来るものが違うのですよね。最初に家族、家庭生活が来ているのが開隆堂で、東京書籍は食生活から入っています。家庭科でよく思い浮かべるのはやはり料理ですけれども、そうではないだろうというふうに思っています。家庭科を学び自立に向

かっていくためには、まず一番身近な家族のことをよく考えて自分が何に支えられているのかというところを意識することが非常に大事だろうと思いますので、先生方によって教える順番は違うということではありますけれども、まず家族、家庭生活を最初に持ってきている開隆堂が良いと思いました。また、開隆堂は、各単元のテーマごとに、冒頭で、子ども達自身に、どのようなところに興味、関心があるのか、「考えてみよう」というような形で、白紙の状態子ども達に一度考えさせてから、テーマに入っていく、という構成になっています。その点も優れていると思いましたので、開隆堂が良いと思っています。

磯野教育長 私の方も意見を述べさせていただきます。もう各委員から出ていますけれども、開隆堂は学びのスタンスがきちんとしているということと、社会との関わりについてもきちんとしていて、それからSDGsもこれから重要になってきますので、そこも取り上げられている。私は教科書採択とは別に、今回、新型コロナの関係で、本当は休校中に家庭科で課題を出して欲しかったんですね。自分で料理を作って、写真を撮って持ってきたらそれが課題になる、そのような自主的な課題に取り組むというスタンスでいえば、この教科書の中の開隆堂の写真は本当に綺麗で食べてみたくなるし、作ってみたくなるような気持ちになったので、そのような点では、非常に優れているなという意見を述べさせていただきます。

磯野教育長 ご意見、ご質問等ないようですので、これより、令和3年度に、本市立中学校において使用する「技術・家庭（家庭分野）」の教科用図書を決定します。

それでは、採決に移ります。

中学校用教科用図書「技術・家庭（家庭分野）」の発行者は3者、「東京書籍」「教育図書」及び「開隆堂出版」です。

この3者から投票により決定します。事務局より、投票用紙を配布してください。

（投票用紙の配布後、教育長・教育委員、投票。

事務局において、開票・集計し、教育長へ報告）

磯野教育長 ただいまの投票結果について報告します。

開隆堂出版、5票。開隆堂出版が過半数を得ましたので、これを採択することと決定したいと考えますが、如何でしょうか。

（「異議なし」という声あり）

磯野教育長 ご異議ないようですので、令和3年度に本市立中学校において使用する「技術・家庭（家庭分野）」の教科用図書は、「開隆堂出版」と決定しました。

## 【英語】

磯野教育長 次に、中学校用教科用図書「英語」に係る調査結果について、教育指導課長、説明をお願いします。

鶴岡教育指導課長 外国語・英語について報告します。

外国語科の目標は、「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す」とあります。本市生徒の学力については、おおむね良好ですが、課題としては、「聞いて把握した内容について適切に応じること」「与えられた情報に基づいて、説明する文を正確に書くこと」が挙げられます。従って、平成14年から実施された小学校外国語活動で養われた基礎をもとに、興味関心を喚起し、小中の接続が円滑に行われるよう配慮されていること、4技能五つの領域をバランスよく育成するための言語活動の充実に資するよう配慮されている教科用図書を選定する必要があります。

観点については、ご確認ください。

次に、調査結果を具体的に説明します。

まず、「東京書籍」についてです。新しい学習指導要領への対応(1)では、3年48ページ、49ページの「Stage Activity」として、それまでのユニットで学習した内容を活用する統合的な活動が用意されています。生徒に身近な話題である学校生活で経験したことを伝え合い、よりよい報告ができるようなアドバイスをするといった発展的な対話的活動になっています。

次に「開隆堂出版」についてです。

3年4ページの「各PROGRAMの構成」に見られるように①「とびら」で、学習の見通しを立てる②「Scenes」で、基礎・基本を習得する③「Think」で題材内容について考える④「Retell」で自分のことばで本文を語る⑤「Interact」で自己表現や即興のやり取りをし、やり取りの要点

を「書くこと」でまとめるという、4技能五つの領域を総合的にバランス良く育成するための言語活動が充実しています。さらに、中学校3年間で「最終的にどんな力を身につけさせたいか」というゴールから逆向きに考えていく指導計画を「Our Project」を軸に立てることができる構成になっています。次に「三省堂」についてです。

新しい学習指導要領への対応(3)では、2年生、118ページから121ページをご覧ください。「Project」として、生徒の個性や創造性が発揮できる問題解決型の言語活動が設定されています。4技能五つの領域を統合する活動に対して、丁寧に段階を踏んで取り組めるような工夫がよくなされています。

内容(2)では、1年生の38ページをご覧ください。小学校との接続を踏まえ、慣れ親しんだリスニングとスピーキングの活動からLessonがスタートします。一方で3年では、リーディングからLessonが始まるなど、発達段階に応じた適切な配列になっています。

次に「教育出版」についてです。

新しい学習指導要領への対応(3)では、1年生の87ページから97ページをご覧ください。本文のReadingとListeningを通して基礎・基本の定着を図った後、Reviewで学習内容の振り返りをし、SpeakingやWritingの活動を経て、4技能を統合したProject活動へと移行するよう流れが工夫されています。

次に、「光村図書」についてです。

新しい学習指導要領への対応(1)では、各学年の帯教材、2年の教科書では136ページの次の部分の「Let's Talk」のように、間違いをおそれず、即興で話す活動を充実させ、かつ、協働学習により深い学びにつなげる工夫がされているという点で優れています。

内容(2)では、個性豊かな中学生である登場人物が3年間を通して様々な体験をしながら成長していくストーリー性のある題材です。3年89ページにあるお別れのスピーチのように、生徒が感情移入しやすく、アウトプットにつなげやすい内容であるという点で特に優れています。

最後に「啓林館」についてです。

新しい学習指導要領への対応(3)では、1年104ページをご覧ください。本課の各セクションを見開き2ページで扱い、本文を「Get Ready」の「Read」で読み、その後「Listen」で聞き、105ページに進み、「Practice」で練習し、最後に「Use」で活用する、という4技能五つの領域を総合的に学習及び指導できるような適切な構成となっています。

教科書の大きさは、東京書籍のみA4判、他者はすべてA B判です。すべての会社でデジタルコンテンツ利用可能です。

以上です。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等を含め何かありますか。

和田委員 中学校の英語が一番変わったこと、教科書を採択する際に考えなくてはいけないことは、小学校で英語を教科として学習するようになったということではないかと思います。採択の前に知っておきたいなと思い、伺うのですが、中学校の教員の皆さんが、小学校の英語について、研修であるとか、どのようなプロセスで、子ども達が中学校に入学するまでに学んできているかということ学ぶ機会というのはどのように設定されているのでしょうか。

高雄指導主事 3点あります。まず1点目ですけれども、年度初めに、小中合同の外国語活動・外国語科主任研修会を開催していきまして、こちらについては小中学校の学区毎で、情報交換会を行っています。2点目ですが、中学校の教員に対して、年度当初、小学校の先生方の授業への取組みを紹介させてもらいまして、こうした点を意識して、特に1年生の授業については展開するようにお願いをしているところです。最後3点目になりますが、年度内に1、2回程度、中学校の教員が小学校の授業に参加して、小学校の先生方の授業に直接触れるような機会を設けています。中には中学校の先生が小学校で授業をするということも聞いています。

和田委員 ありがとうございます。お聞きして非常に安心したのは、やはり小学校の先生が中学校の英語がどう教えられているかを学ぼうとすると、どうしても小学校で中学のことを前倒して先に困らないようにやってしまうと考えてしまうのではないかと思います。ただ今伺いまして、どちらかということ中学校の先生方が小学校に行き、小学校でどのように授業が行われているか

ということを研修されていると伺いまして安心しました。それを踏まえても、やはり小学校の英語からの接続だと思うのですが、もちろん各者工夫されていると思いますけれども、より特徴的で、スムーズに中学でも英語に入れるような取組みがありましたら教えていただけますでしょうか。

高雄指導主事 連続性の学び、小中の繋がりが、単語と内容の面で考えられると思います。まず単語の面ですが、開隆堂については、小学校でも使用しています。中学校の教科書、開隆堂は1年生の142ページになります。「小学校で学んだ単語」というリストが掲載されており、小中接続の観点からの手法は既習後は一致しているということなので伺っています。続いて、三省堂になります。1年生の教科書10ページから61ページまでの間になりますが、それぞれページの一番下に、「小学校で聞いたり話したりした大切な語句だよ。、繰り返し返し練習しよう。」と記載がされています。このような形で小中の繋がりが図られているというように聞いています。続いて、光村図書です。こちらは1年生の教科書158ページからになります。「Word List」という形になっていますが、この中で、小学校で学習したものにマークがついているというような状況です。以上のように小学校での学びを中学校に接続する工夫がなされていると聞いています。最後に、内容面ですが、各者ともに、1年生の巻末の最初のページで小学校の学習が振り返られるような、そのようなページが設けられているということも報告を受けています。以上です。

和田委員 質問ですが、千葉市の生徒の課題として、聞いて把握した内容について適切に応じることが少し課題であると、それから、与えられた情報に基づいて説明する文を正確に書くということにも少し課題があるとのことで、これは学力状況調査をもとにした課題だと思います。一方で話すことというのは学力状況調査で測れないと思うのですが、この話すことというのは千葉市の子ども達はどうでしょう。教えてください

高雄指導主事 いま、委員のご指摘のように、話すことに関して、教科書の特徴で、述べさせてもらいたいと思いますが、まず開隆堂については、相手の言ったことに即興で対応したり、意見を述べ合ったりする力を養う活動が豊富に配置されていると聞いています。また、三省堂については、領域統合型のプロジェクト学習が適

切に配置されている中で、スピーキングの学習にも重きを置いていると伺っています。そして光村図書については、実社会に即した具体的な場面が設定された題材ですとか、或いはそのタスクを取り入れた自由度の高い言語活動が多く取り扱われていて、このような中で、スピーキングの力を養えるという工夫がされていると聞いています。

和田委員 ありがとうございます。千葉市の子ども達に話すことに課題がとりわけ見られるということはないのでしょうか。授業の中での判断になるとは思いますが。

高雄指導主事 話すことについて、決して課題がないわけではありません。新しい学習指導要領になりまして、話すことについては、特に即興性という部分が求められています。先ほど報告させていただいた補足になりますが、即興性というところでは重視をしております、各者ともに工夫がされていると考えています。

磯野教育長 私からは意見に近い形になると思いますけれども、まず光村図書ですけれども、確かに3年間のストーリーの構成がきちんとできていて、話題設定もしっかり取り組まれているなという感じがしました。ただ、本来の本文と基本的な文脈のページが、見開きで分かれているので、この辺は学ぶ方としてはどうなのかなと少し疑問が残りました。開隆堂は、先ほど和田委員からもありましたけれども、今回一番注目したのは小中の子どもの学びです。教える先生は変わったけれども、子ども達がどのように学ぶ中で使っていったら良いのかと考えたときに、開隆堂の最初のページの「S c e n e s」のところでの言語の主要場面で、イメージしやすいように漫画が入っているので、こうやっていくんだということがしっかりわかるのと、プログラムの最後に設定された英語の文法の仕組みの中で、文法とコミュニケーションがしっかりまとめられているので、しっかりできているのかな。そのような点では子ども達は、登場人物が小学校と中学校で同じ方が出てくるし、中学校で新たに出てくる方もいる、という観点では興味深く学習できるのかなと思いました。それと三省堂の、色々な形で思考判断表現力を養う活動が入れられているのですけれども、この中で小学校の単語を欄外ではなくまとめておいて欲しかったなと感じました。いずれにしても、小中の学びの関係でいくと、私はトータルとしてみると開隆堂で、新たな学びを進めて欲しいなというのが私の意見です。



以上です。

和田委員 いま教育長からもありましたが、中学に入ってから新しく英語に対して持たなくてはならない観点として、文法ということがあると思います。小学校時代は文法を、詳しいことをちゃんと話せなくても、きちんとしなくてもいいから、とにかく話してみようということに重点が置かれていると思いますが、中学に入るとやはり文法をきちんと学んでいく、という段階に入るとと思います。文法について、学びやすい、教えやすいということでは何か報告が上がっていただければ教えていただけますか。

高雄指導主事 新しい学習指導要領では、文法指導については、言語活動の中で繰り返し活用させることで、文法事項に対する気づきを促す指導をする、ということが示されています。この点から開隆堂については、主に聞くことから単元の導入が始まり、新出文法に触れています。また、三省堂と光村図書については、主に聞くこと、音と読むこと、文字を合わせて確かめることから、単元の導入が始められ、新出文法に触れています。こちらは、の子ども達の実態に応じて、先生方が様々工夫していくことが考えられます。子ども達の中には、いきなり音から入ることに対して抵抗心があって、初めは文字から入った方が安心して学べるという生徒もいると思います。一方で、チャレンジしようとする生徒については、何もないような、初めてのリスニングで内容を理解したり、或いはその新しい文法を理解していこうと、というような状況もあるというように伺っています。ただ、申し上げましたように各者ともそのような工夫がされている中で、単元の終わりに文法のまとめというページもありますし、子ども達が学習しやすい工夫が見られるというような報告を受けています。以上です。

竹田委員 本市の課題で、小中の円滑な接続ということがありましたけれども、和田委員や教育長がおっしゃったように連続性が非常に大事だと思うので、小中で同じ教科書を使った方が私は良いと思います。実際に開隆堂ですと、最初の14ページぐらい小学校英語を活かすという章立てがありますので、これも非常にいいことだと思います。あともう一つお願いですが、この新型コロナの状態で、6年生の小学校のカリキュラムがどこまでこなせるかわからないと思うんですね。ぜひその辺を必ず習熟度とといいますか、それを把握した上で授業を開始してもらいたい

と思います。あともう1点、些細なことなのですが、もし三省堂の教科書に決まった場合ですね、目次の左上のQRコードがバーコードと誤植ですので、もし採用した場合は訂正した方が良いでしょうと思います。

磯野教育長 ご意見、ご質問等ないようですので、これより、令和3年度に、本市立中学校において使用する「英語」の教科用図書を決定します。

それでは、採決に移ります。

中学校用教科用図書「英語」の発行者は6者、「東京書籍」「開隆堂出版」「三省堂」「教育出版」「光村図書出版」及び「新興出版社啓林館」です。

この6者から投票により決定します。事務局より、投票用紙を配布してください。

(投票用紙の配布後、教育長・教育委員、投票。

事務局において、開票・集計し、教育長へ報告)

磯野教育長 ただいまの投票結果について報告します。

開隆堂出版、5票。開隆堂出版が過半数を得ましたので、これを採択することと決定したいと考えますが、如何でしょうか。

(「異議なし」という声あり)

磯野教育長 ご異議ないようですので、令和3年度に本市立中学校において使用する「英語」の教科用図書は、「開隆堂出版」と決定しました。

#### 【特別の教科 道徳】

磯野教育長 最後に、中学校用教科用図書「特別の教科 道徳」に係る調査結果について、教育指導課長、説明をお願いします。

鶴岡教育指導課長 「特別の教科 道徳」について報告します。

道徳科の目標は、「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」であります。本市生徒については、平成30年度千葉県学力状況調査における「意識調査」や「学校生活の見取り」から、社会生活に対する意識や行動が育っているものの、自尊感情や判断力などの低さから、人間関係をうまく結ぶことできない生徒が多い傾向が見られます。道徳的価値の自覚及び自己の生き方について考えを深め、多面的・

多角的に物事を捉えるという目的の中、「考え議論する道徳」を進める必要性があります。

従って、教材のねらいが具体的で、生徒が自分との関わりとして道徳的価値を捉え、主体的に考え、議論でき、日々、そのような学習を積み重ねることができるといった特色を有する教科用図書を選定する必要があるものと考えます。

観点については、資料をご確認ください。

それでは、調査結果を具体的に説明します。

まず、「東京書籍」についてです。新しい学習指導要領への対応（２）では、１年２２ページなどに見られるように、いじめや生命尊重に対して、各学年でユニット単元が配置され、考えが深められるようになっていきます。内容（１）では、２年４０ページ「『今』を生きる私のために」に見られるように、生徒作文を教材としており、同世代の思考を考えられるようになっていきます。

次に「教育出版」についてです。新しい学習指導要領への対応（２）では、１年４６ページ「いじり？いじめ？」などに見られるように、いじめや差別、生命の尊さについて年間を通して学べるような教材配置の工夫があります。

次に「光村図書」についてです。新しい学習指導要領への対応（１）では、２年２１ページ「松葉づえ」にあるように、体験的な活動が取り入れられ、考えを深められるようにしています。

内容（２）では、２年１３４ページの「夢の力」のように様々な生き方を取り上げ、問題提起をしています。

次に「日本文教出版」についてです。新しい学習指導要領への対応（１）では、１年６２ページ「あったほうがいい？」などのように、特別なコーナーである「学習の進め方」が提示されており、問題解決的な学習や体験的な学習が無理なく実施できます。内容（１）では、１年１７２ページ「役に立つことができるかな」のように「よりよい社会と私たち」というユニットにより系統立てて、計画的に学習が進められるようになっていきます。

次に「学研教育みらい」についてです。内容（２）では、１年２４ページ「うわさで決めるの？」のように、１つの現代的なテーマに対して、多面的・多角的に考えられるような工夫があります。

次に「廣済堂あかつき」についてです。内容（１）では、１年

36ページ「ヨシト」のように、各学年で生命尊重や人権教育に重点を置いた教材を配置しています。

次に「日本教科書」についてです。内容（2）では、2年48ページ「リョウとマキ～Triangle Zone～」のように、全学年を通して共通の題材で扱い、学年に合わせた素材を用意するなどの工夫があります。

教科書の大きさは、東京書籍、廣済堂、学研がA B判、教育出版、光村図書、日本文教、日本教科書がB 5判、すべての者がデジタルコンテンツ利用可能です。

以上です。

磯野教育長 審議に移りますが、質問等を含め何かありますか。

小西委員 現在中学校では日本文教出版の教科書が使われているのですが、1年近く使ってみて、使いやすさ、使いにくさ、特にノートの使い勝手のところで、現場の意見等ありましたら教えていただければと思います。

岡田指導主事 日本文教出版のノートですが、1時間1ページということで構成されていて、生徒が学びを積み重ねられる、また、自分の意見を自由に書いて議論に役立てることができる、また、一番最後に自己評価欄がありますけれども、すべて毎時間同じ項目で自己評価をしています。そこに関しましては、自分の学習の振り返りとともに、同じ項目で評価することで、先生方の授業改善にも役立つというように聞いています。指導と評価の一体化ということでは非常に重要な点であるというように聞いています。

和田委員 以前からお話しさせていただいていることですが、道徳という教科書は、いかに教科書に載っている内容を自分の事、自分事として捉えて、気持ちを入れて、想像力を豊かにして、学べるかということになると思っています。そのために、学習の手引きですとか、それから主題の提示が重要なポイントになってくるのかなと思うのですが、例えば主題の提示もあまり決めつけ過ぎてもいけないし、創造力が働くような主題を提示しなくてはいけない。学習の手引きにしても、突っ込みすぎてもいけないし、かといって誘うことができなくてもいけない、その加減が難しいところだと思うのですが、何か特徴があるところ報告があれば教えていただけますでしょうか

岡田指導主事 まず、学習の主題についてですが、こちらは小中と系統

立てて学習していくということで、2年前、教科化になってから、全国統一のキーワードで提示されるようになりました。中学校においては22項目ありますが、そちらがわかりやすく生徒にも学習の主題として浸透していくということを聞いています。また、学習の手引きに関しましては、今おっしゃったように、自分事として実際社会の中で問題解決的な学習を進めていたり、またその場にいたらどうするかというような体験的な学習という流れを手引きとしたりして、どの者も扱っていると報告を受けています。

磯野教育長 質問になりますけれども、千葉市は若い先生が多いということで、ノートがあった方がいいということは、確かに、実態として分かったのですが、そうは言っても、各教材にいろいろな重要なものが載っています。一方で、千葉市は独自教材を作っています。私は道徳に関しては、読み物資料がかなり重要性を占めていくという、その実体験に基づくものもあるので、そうになると、教科書の割合と千葉市の独自教材、先生独自の教材があると思うのですがけれども、その辺の実際の年間の割合が示されているのであれば教えてください。

岡田指導主事 中学校においては35時間という年間時数ですけれども、千葉市の郷土教材として、1学年で4点、作成しています。いろいろな多岐にわたるテーマを基にしているのですがけれども、そちらは年間指導計画を学校独自で作っていくということで、教科書教材でもいいし、千葉市の郷土教材でもいいという、どちらか選択をして学んでいけるというふうな形を取っています。

磯野教育長 割合はわからない？

岡田指導主事 はい。

磯野教育長 意見になりますが、今回、世の中でいじめの問題があってから、そこに特化した資料が非常に多くなって、各者よく扱われていると思います。ただ、この問題を子ども達にどう分からせていくかということは、道徳だけでは非常に難しいと思います。どちらかという教え込むことではなく、子ども達が考えていかなければならない中で、ノートにまとめることも大事だけれども、先生方がしっかり考えさせる場面を作っていくような授業をやって欲しいという、私のお願いとして、意見を出させていただきます。

和田委員 意見ですけれども、やはり子供たちが考えなくてはいけない

教科ですので、考える余白がある、子供たちに考えさせる時間ですとか、余裕のあるような教科書が良いと思っています。その点で主題の置き方が日本文教出版に関しては、柔らかくしかも短く教材のタイトルの前に載っていきまして、そこから想像することが子供たちにとっては大きく広がるのかなと考えます。光村図書も表題など詳しく載って素晴らしいと思うのですが、主題の部分が、先程の説明にもあった22のわりと固い主題のまま載っていて、それだと少し子供たちが構えてしまうのではないかとの印象を持ちました。総合的に考えまして、ノートの有用性や自己評価のやりやすさなども含めて、私も日本文教出版が良いと考えています。

磯野教育長 ご意見、ご質問等ないようですので、これより、令和3年度に、本市立中学校において使用する「特別の教科 道徳」の教科用図書を決定します。

それでは、採決に移ります。

中学校用教科用図書「特別の教科 道徳」の発行者は7者、「東京書籍」「教育出版」「光村図書出版」「日本文教出版」「学研教育みらい」「廣済堂あかつき」及び「日本教科書」です。

この7者から投票により決定します。事務局より、投票用紙を配布してください。

(投票用紙の配布後、教育長・教育委員、投票。

事務局において、開票・集計し、教育長へ報告)

磯野教育長 ただいまの投票結果について報告します。

日本文教出版、5票。日本文教出版が過半数を得ましたので、これを採択することと決定したいと考えますが、如何でしょうか。

(「異議なし」という声あり)

磯野教育長 ご異議ないようですので、令和3年度に本市立中学校において使用する「特別の教科 道徳」の教科用図書は、「日本文教出版」と決定しました。

《総括》

磯野教育長 以上で、議案第80号に係る、「令和3年度使用千葉市立中学校用教科用図書の採択について」は、12教科16種目について、採択が終了しました。

改めて確認しますと、

国語

(国語) 「光村図書出版」

書写	(中学書写) 「教育出版」
社会 (地理的分野)	(新しい社会 地理) 「東京書籍」
社会 (歴史的分野)	(新しい社会 歴史) 「東京書籍」
社会 (公民的分野)	(新しい社会 公民) 「東京書籍」
地図	(中学校社会科地図) 「帝国書院」
数学	(未来へひろがる数学) 「新興出版社啓林館」
理科	(理科の世界) 「大日本図書」
音楽 (一般)	(中学生の音楽) 「教育芸術社」
音楽 (器楽合奏)	(中学器楽 音楽のおくりもの) 「教育出版」
美術	(美術) 「日本文教出版」
保健体育	(中学保健体育) 「学研教育みらい」
技術・家庭 (技術分野)	(技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて) 「開隆堂出版」
技術・家庭 (家庭分野)	(技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生) 「開隆堂出版」
英語	(SUNSHINE ENGLISH COURSE) 「開隆堂出版」
特別の教科 道徳	(中学道徳 あすを生きる) 「日本文教出版」

となりました。

以上、よろしいでしょうか。

(「異議なし」という声あり)

それでは、ただ今のとおり決定します。

磯野教育長 続いて、議案第81号についてお諮りします。

「令和3年度使用千葉市立稲毛高等学校附属中学校用 教科用図書の採択については、議案第81号に係る審議に先だち、議案第80号と同じ教科用図書を採択することによって、審議を進めて参りました。特にご異議がなければ、そのとおり決定したいと考えますが、如何でしょうか。

(「異議なし」という声あり)

磯野教育長 ご異議ないようですので、ただいまのとおり決定します。

## 7 その他

(1) 採択結果について、千葉市ホームページ上で当日中に公開することを教育指導課長から伝えられた。

(2) 第8回定例会は、調整の結果、8月28日(金)午後2時より開催することを決定した。

## 8 閉会

磯野教育長より閉会を宣言



